

2010年度 大学院生の研究活動記録

注

1. 印刷中であっても、掲載が決まっている分は、自己申告により本年度実績として記載可。
2. 記載の仕方は院生の提出したものによる。
3. 論文の審査有無は、自己申告による。
4. 研究生も含める。

先端人間科学  
 在籍者 7名  
 回答者 5名  
 研究成果 有 4名  
 成果有の人数(%) 80%  
 回答者率 71%  
 無 1名

1	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	Spence Zaorski	研究分野名	コミュニケーションメディア	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	日本語教育における地域と教室をつなぐビデオ制作の試み	スペイン・ゼオースキ、貴志佳子	2010年5月23日	JALT PAN-SIG	
	学会発表(国内)	魚の生態観察を目的とする複合現実感技術を用いた映像展示の開発	今井 亜湖、ゼオースキ、スペイン、吉富 友恭、大塚 一幸、前迫 孝憲	2010年9月20日	日本教育工学会 第26回全国大会	
	学会発表(国外)	Project Japan: The Latest Ed Tech Trends, Solutions, and Opportunities	Spence Zaorski, Taichiro Okubayashi, Yoshimi Sasada, Aiko Imai, Yoshiko Kishi, Takanori Maesako	2010年6月27日	ISTE 2010	
	学会発表(国外)	Digital Storytelling: Moodle Site Sets Students up for Successful Videoconferencing	Agnes Zaorski, Spence Zaorski, Taichiro Okubayashi, Takanori Maesako	2010年6月30日	ISTE 2010	

2	指導教員	芋阪 満里子	副指導教員	森川 和則		
	氏名	遠藤 香織	研究分野名	心と脳の科学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	日本語版リーディングスパンテストにおける4つの得点化法の検討	遠藤香織・芋阪満里子	2010年5月29日	日本認知心理学会第8回大会発表論文集 p.102	
	学会発表(国内)	背景音がリーディングスパンテスト課題遂行に与える影響	遠藤香織・芋阪満里子	2010年9月22日	日本心理学会第74回大会発表論文集 p.823	
	学会発表(国内)	不気味の谷現象は再現できるか?	遠藤香織	2010年11月7日	関西心理学会第122回大会発表論文集	
	学会発表(国内)	日本語版リスニングスパンテスト成績の個人差と方略利用	遠藤香織・芋阪満里子	2011年3月26日	日本ワーキングメモリ学会第8回大会	
	研究会発表	ワーキングメモリの個人差と日本語のスタイルシフト効果	遠藤香織	2010年7月20日	グローバルCOEプログラム「認知脳理解に基づく未来工学創成」第16回創成塾	
	研究会発表	ワーキングメモリの個人差と日本語のスタイルシフト	遠藤香織	2010年9月25日	第14回関西若手実験心理学研究会	
	研究会発表	不気味の谷現象は再現できるか?—ロボットらしさ、人間らしさ、親しみやすさの評価—	遠藤香織	2010年11月11日	グローバルCOEプログラム「認知脳理解に基づく未来工学創成」若手ワークショップ	

3	指導教員	芋阪 満里子	副指導教員	森川 和則		
	氏名	東 美由紀	研究分野名	心と脳の科学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	ワーキングメモリと視覚的イメージの相互作用	東美由紀・芋阪満里子	2010年3月6日	日本ワーキングメモリ学会第7回大会	
	学会発表(国内)	ワーキングメモリの個人差とRST遂行中の眼球運動	東美由紀・芋阪満里子	2011年3月26日(予定)	日本ワーキングメモリ学会第8回大会	

4	指導教員	渥美 公秀	副指導教員	中道 正之		
	氏名	宮本 匠	研究分野名	心と脳の科学・減災人間科学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	著書(分担執筆)	外部支援者／軸ずらし／復興曲線	宮本匠	2011年1月24日	矢守克也・渥美公秀編著、近藤誠司・宮本匠著 防災・減災の人間科学 Pp.194-201.Pp.206-210.	
	研究会発表	Vidualization of disaster revitalization process-Introduction of a new interview tool-	Takumi MIYAMOTO	2010年8月3日	DRC's Research Experience for Undergraduates, Disaster Research Center, University of Delaware	
	研究会発表	Study on long-term revitalization process after disaster in Japan-Introduction of my research-	Takumi MIYAMOTO	2010年11月22日	Disaster seminar, Disaster Research Center, University of Delaware	
	研究会発表	Study on long-term revitalization process in Japan	宮本匠	2010年12月21日	復興プロセス研究会	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.8	宮本 匠・渥美 公秀	優秀論文賞	日本グループ・ダイナミックス学会

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	宮本 匠	科学研究費補助金・特別研究員奨励費	日本学術振興会

行動学系 在籍者 70名 回答者 58名 研究成果 有 44名 成果有の人数(%) 76%  
 回答者率 83% 無 14名

1	指導教員	森川 和則	副指導教員		
	氏名	富田 瑛智	研究分野名	基礎心理学	学年 DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名 審査有無
	学会発表 (国内)	認知スタイルは視覚刺激の平均値を抽出する能力に影響するか?	富田瑛智・前澤岳史・森川和則	2010年5月29日	日本認知心理学会第8回大会発表論文集 106
	学会発表 (国内)	単純接触効果の平均顔への般化における刺激提示時間の効果	富田瑛智・森川和則	2010年9月1日	日本心理学会第74回大会発表論文集 643
	学会発表 (国内)	顔の単純接触効果における目の寄与可能性	富田瑛智・森川和則	2010年11月28日	日本基礎心理学会第29回大会発表論文集 86
	研究会発表 (国内)	単純接触効果の生じ方と再認確信度の関係	富田瑛智・森川和則	2010年3月29日	Technical Report on Attention and Cognition No.17

2	指導教員	森川 和則	副指導教員		
	氏名	奥村 和枝	研究分野名	基礎心理学分野	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名 審査有無
	学会発表 (国内)	髪型の小顔効果は本当? -顔輪郭の遮蔽が顔の形状知覚に及ぼす影響-	奥村和枝・森川和則	2010年9月24日	日本顔学会誌, 10, 1, 177

3	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹	
	氏名	笠置 遊	研究分野名	対人社会心理学	学年 DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名 審査有無
	学術論文 (国内)	複数観衆問題への対処行動としての補償的自己高揚呈示	笠置 遊・大坊郁夫	2010年4月	心理学研究, 81, 26-34. ○
	学術論文 (国内)	親密な観衆が存在するときの複数観衆問題 -同性観衆の存在が異性への身体的魅力呈示に及ぼす影響-	笠置 遊・大坊郁夫	印刷中	応用心理学研究 ○
	会報誌	日本社会心理学会第51回大会 印象記	笠置遊	2010年11月	日本社会心理学会 会報188号
	学会発表 (国内)	複数観衆問題による状態自尊感情の変化	笠置 遊・大坊郁夫	2010年8月	日本グループ・ダイナミクス学会第57回大会発表論文集, p.24-p.25.
	学会発表 (国内)	複数観衆状況における自己呈示が自己制御資源の量に及ぼす影響	笠置 遊・大坊郁夫	2010年9月	日本社会心理学会第51回大会発表論文集, p.382-383.
	学会発表 (国外)	Compensatory self-enhancement as a solution of the multiple audience problem.	Yu KASAGI, & Ikuo DAIBO	2010年7月	International Congress of Applied Psychology 2010, Melbourne, Australia, p.104

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	笠置 遊	日本学術振興会特別研究員奨励費	日本学術振興会

4	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹・篠原 一光	
	氏名	横山 ひとみ	研究分野名	対人社会心理学	学年 DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名 審査有無
	学術論文 (国内)	複数回会話における会話特徴の変遷—2人会話がその後に行う3人会話に与える影響—	藤原 健・大坊郁夫・前田奈穂・横山ひとみ・前田貴司・岸野文郎・北村喜文・林 良彦	2010年5月	電子情報通信学会技術研究報告, 110(33), 76-84.
	学術論文 (国内)	社会的スキル・トレーニングにおける対人関係解説—DESIREJの作成に向けて—	大坊郁夫・横山ひとみ・磯 友輝子・谷口 淳一	2010年5月	電子情報通信学会技術研究報告, 110(33), 85-90.
	学術論文 (国内)	3人会話における「場の活性化」の自己と第三者の評価の比較	梶村康祐・高嶋和毅・山口徳郎・北村喜文・岸野文郎・前田奈穂・藤原 健・横山ひとみ・大坊郁夫	2010年8月1日	電子情報通信学会技術研究報告, 110(185), 43-48.
	学会発表 (国内)	対面説得場面での送り手の非言語的行動の検討	横山ひとみ・大坊郁夫	2010年9月17日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集, 596-597.

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	横山 ひとみ	日本学術振興会特別研究員奨励費DC2	日本学術振興会

5	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	藤原 健	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内), 研究会誌	複数回会話における会話特徴の変遷—2人会話がその後に行う3人会話に与える影響—	藤原 健・大坊郁夫・前田奈穂・横山ひとみ・前田貴司・岸野文郎・北村喜文・林良彦	2010年5月	電子情報通信学会技術研究報告, 110 (33), 79-84.	○
	学術論文 (国内), 研究会誌	3人会話における「場の活性度」の自己と第三者の評価の比較	梶村康祐・高嶋和毅・前田貴司・山口徳郎・北村喜文・岸野文郎・前田奈穂・藤原 健・横山ひとみ・大坊郁夫	2010年8月	電子情報通信学会技術研究報告, 110 (185), 43-48.	
	学会発表 (国内)	顔色をうかがう感情—場面想定を用いたメッセージ選択の検討—	藤原 健・大坊郁夫	2010年5月	感情心理学研究, 18, 3 (抄録集として掲載予定)	
	学会発表 (国内)	2者間コミュニケーションにおける感情表出の制御—社会的スキルの観点からの実験的検討—	藤原 健	2010年9月	第26回ファジィシステムシンポジウム講演論文集, 1043-1048.	
	学会発表 (国内)	感情の社会性の再考—社会的相互作用に着目した検討—	藤原 健・大坊郁夫	2010年9月	日本社会心理学会第51回大会発表論文集 162-163.	
	学会発表 (海外)	Affect creates dyadic discrepancy: Does positive affect really make a successful conversation?	Fujiwara, K., & Daibo, I.	2011年1月	The 12th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, 154	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.7	藤原 健	論文等の外国語校正費	大阪大学大学院人間科学研究科
2010.9	藤原 健	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科

6	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員			
	氏名	金 聡希	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	化粧行動の規定因に関する日韓比較研究	金 聡希・大坊郁夫	2010年9月17日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集 286-287.	

7	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	倉元 俊輝	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内), 研究会誌	2者間事態における会話行動が葛藤に及ぼす影響—コミュニケーション・スキルに注目して—	倉元 俊輝・大坊 郁夫	2011年1月21日	電子情報通信学会技術研究報告, 110(383), 1-6.	
	学会発表 (国内)	会話場面における相手のコミュニケーション・スキル認知	倉元 俊輝・大坊 郁夫	2010年9月17日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集, 292-293.	

8	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	張 筱	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	海外大学 修士論文	Selective Self-presentation on Social Network Services: The Effect of Self-construal	Xiao Zhang	2010年8月19日	University of Sussex, Masters Research Dissertation	

9	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	八重樫 海人	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内), 研究会誌	コミュニケーションツールの違いによる3者間会話行動に関する研究(3)—利用者が通信システム環境に対して抱く印象の検討—	八重樫海人・松田昌史・大坊郁夫	2011年1月21日	電子情報通信学会技術研究報告, 110(383), 31-36.	
	学術論文 (国内), 研究会誌	コミュニケーションツールの違いによる3者間会話行動に関する研究(4)—葛藤状況認知と集団意思決定との関連性—	松田昌史・八重樫海人・大坊郁夫	2011年1月21日	電子情報通信学会技術研究報告, 110(383), 37-42.	
	学会発表 (国内)	遠隔地間通信システムを利用した3者間会話場面に関する研究—対面場面と非対面場面における非言語行動の果たす役割(1)—	八重樫海人・松田昌史・大坊郁夫	2010年8月1日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集 614-615.	
	学会発表 (国内)	座席位置が保存される等身大ビデオコミュニケーションにおける利用者の行動—対面状況と非対面状況における非言語行動の果たす役割(2)—	松田昌史・八重樫海人・大坊郁夫	2010年8月1日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集 616-617.	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.12	松田昌史・八重樫海人・大坊郁夫	ヒューマンコミュニケーション賞	電子情報通信学会

10	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員			
	氏名	藪口 莉那	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	外向性・調和性と顔面表情による感情解読との関係	藪口莉那, 大坊郁夫 (大阪大学)	2010年10月	日本顔学会誌第10巻1号(フォーラム顔学)/ 日本顔学会	

11	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	清水 侑子	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	恋人関係の特徴が友人関係に及ぼす影響	清水侑子・大坊郁夫	2010年9月18日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集 583-539	
	学会発表 (国外)	The relationships between stability/exclusivity of romantic relationships and its effect on friendships.	SHIMIZU, Y. & DAIBO, I.	2011年1月26日	the 12th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, San Antonio 133.	○

12	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	前田 奈穂	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	複数回会話における会話特徴の変遷—2人会話がその後に行う3人会話に与える影響—	藤原健・大坊郁夫・前田奈穂・横山ひとみ・前田貴司・岸野文郎・北村喜文・高嶋和毅・林良彦	2010年5月14日	電子情報通信学会技術研究報告, 110(33), 76-84.	
	学術論文 (国内)	3人会話における「場の活性度」の自己と第三者の評価の比較	梶村康祐・高嶋和毅・前田貴司・山口徳郎・北村喜文・岸野文郎・前田奈穂・藤原 健・横山ひとみ・大坊郁夫	2010年8月28日	電子情報通信学会技術研究報告, 110(185), 43-48.	

13	指導教員	釘原 直樹	副指導教員	大坊 郁夫		
	氏名	阿形 亜子	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	他者補償行動による集団内不平等問題の解明—監督者による能力把握の影響—	阿形亜子・釘原直樹	2010年9月17日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集、108	
	学会発表 (国内)	マスコミが対象とするスケープゴートの変換(18)—大事故報道での非難対象に対する一般人の帰属—	植村善太郎・村上幸史・阿形亜子・釘原直樹	2010年9月17日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集、206-207	
	学会発表 (国内)	マスコミが対象とするスケープゴートの変換(17)—新型インフルエンザについてのリアルタイム評価—	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・阿形亜子	2010年9月17日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集、204-205	

14	指導教員	釘原 直樹	副指導教員			
	氏名	上原 依子	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (研究所)	過度の規範遵守の定義—規範の性質—遵守レベルの対項目への反応から—	上原依子・釘原直樹	2011年1月21日	電子情報通信学会技術研究報告, 110(383), 19-24.	
	学会発表 (国内)	利他的な規範への信奉的認知と適応の関連性—実験室プライミングによる認知操作からの検討—	上原依子・釘原直樹	2010年8月28日	日本グループダイナミクス学会第57回大会発表論文集, 10-13.	
	学会発表 (国内)	利他的規範への過度の遵守要求が対人評価におよぼす影響—一般的信頼との関連性検討による適応への知見—	上原依子・釘原直樹	2010年9月18日	日本社会心理学会第51回大会発表論文集, 148-149.	
	学会発表 (国内)	規範の過度の遵守希求認知が対人評価におよぼす影響—調節要因としての認知的複雑性の視点から—	上原依子・釘原直樹	2010年9月21日	日本心理学会第74回大会発表論文集, 1090.	
	学会発表 (国内)	社会的規範に関する遵守レベル認知が対人評価におよぼす影響—規範の性質と適切な遵守レベルのカテゴリカルな対応—	上原依子・釘原直樹	2010年9月23日	日本行動計量学会第38回大会発表論文集, 36-37.	
	学会発表 (国内)	規範の過度の遵守希求認知が対人評価におよぼす影響—調節要因としての認知能力の検討—	上原依子・釘原直樹	2010年10月11日	日本パーソナリティ心理学第19回大会発表論文集	
	学会発表 (国内)	過度の規範遵守による弊害	上原依子・釘原直樹	2011年3月2日	東北大学大学院文学研究科グローバルCoE 公正部門・公正研究会共催ワークショップ	○
	学会発表 (国外)	When Virtue Becomes Laws: the Negative Effects of "Excessive" Normative Consciousness on Estimation for Altruism.	Yoriko Uehara, & Naoki Kugihara	2011年1月29日	12th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, San Antonio, Texas. p.235.	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.10	上原依子・釘原直樹	日本パーソナリティ心理学会優秀発表賞	日本パーソナリティ心理学会

15	指導教員	釘原 直樹	副指導教員	大坊 郁夫		
	氏名	武藤 麻美	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	男子大学生の子育て意識を規定する要因	溝端 奈穂・武藤 麻美・桂田 恵美子	2010年3月25日	臨床教育心理学研究, 36, 15-19.	

16	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	狩谷 明美	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文	貼付型骨伝導振動子の開発とその特性/	細川淳嗣, 狩谷明美	2010年10月16日	日本音響学会聴覚研究会資料	○
	報告書	認知症高齢者ケアにおけるパリアーセッション療法の効果に関する実証的研究	西岡弘晶, 都村尚子, 狩谷明美	2008年7月20日	三井住友海上福祉財団研究結果報告	
	報告書	超高齢社会における高齢者のプロダクティブ・エイジング志向性を矢かめる為の調査研究	藤田綾子, 狩谷明美, 中原純, 中里和弘, 河村涼, 蓮華のぞみ	2010年6月	大阪ガスグループ福祉財団研究報告書	
	報告	Over view of Oji-cho Stady	Akemi Kariya	2009年3月16日-18日	Young Resercher's Meeting on Aging Study, Osaka.	
	学会発表(国内)	看護記録のピアレビューの試みについて	狩谷明美, 藤岡雪子	2011年3月5日	日本看護評価学会抄録集	
	報告	Oji-cho Stady in Japan	Akemi Kariya	2010年2月5日	University of Umea, SV	
	特許	貼付型骨伝導補聴器	狩谷明美, 細川淳嗣	2009年10月15日	特許庁(特願2009-238778)	

17	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 泰之		
	氏名	古村 和恵	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み-フォーカスグループの有用性	井村千鶴・古村和恵・末田千絵・大木純子・清原絵美・野末よし子・赤澤輝和・田村ひでみ・篠ヶ瀬容子・井上聡・山岸暁美・森田達也	2010年3月15日	緩和ケア, 20, 2, 204-9	
	紀要論文	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み-フォーカスグループの有用性2	井村千鶴・古村和恵・末田千絵・大木純子・清原絵美・野末よし子・赤澤輝和・田村ひでみ・篠ヶ瀬容子・井上聡・山岸暁美・森田達也	2010年5月15日	緩和ケア, 20, 3, 308-12	
	紀要論文	地域における緩和ケアの連携を促進する取り組み-フォーカスグループの有用性3	井村千鶴・古村和恵・末田千絵・大木純子・清原絵美・野末よし子・赤澤輝和・田村ひでみ・篠ヶ瀬容子・井上聡・山岸暁美・森田達也	2010年7月15日	緩和ケア, 20, 4, 417-22	
	学会発表(国内)	「わたしのカルテ」の運用課題と有用性に関する多地域・多施設インタビュー調査: OPTIM study	古村和恵・山岸暁美・森田達也・末田千絵・川越正平・秋月伸哉・永江浩二・富樫清・江口研二	2010年6月18日	第15回日本緩和医療学会学術大会, 東京国際フォーラム	
	学会発表(国内)	進行がん患者および遺族は在宅療養について「急な変化や夜間に対応できない」「病院と同じように苦痛を和らげられる」と思っているか?: OPTIM studyによる多施設調査	古村和恵・山岸暁美・森田達也・宮下光令・秋月伸哉・白髭豊・秋山美紀・佐藤一樹・加藤雅志・江口研二	2010年6月18日	第16回日本緩和医療学会学術大会, 東京国際フォーラム	
	学会発表(国内)	地域で緩和ケアを普及させるために取り組むべき課題は何か?: OPTIM study-介入4地域の医療福祉従事者によるフォーカスグループからの課題抽出と意見交換会の評価-	山岸暁美・森田達也・古村和恵・末田千絵・白髭豊・秋月伸哉・秋山美紀・武林亨・加藤雅志・江口研二	2010年6月18日	第17回日本緩和医療学会学術大会, 東京国際フォーラム	

18	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	辻本 耐	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報(学術論文)	幼児期における実行機能と他者感情理解の関連性	山村麻予, 辻本耐, 中谷素之	2011年3月	大阪大学教育学年報16, pp.59-71	
	シンポジウム	幼児期における死の認知および感情的側面の発達の变化	辻本 耐	2010年8月27日	日本教育心理学会題52回総会	
	ワークショップ(話題提供)	子どもは死んだらどうなると思っているのか?	辻本 耐	2010年9月21日	日本心理学会第74回大会	

19	指導教員	佐藤 真一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	中里 和弘	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	遺族の後悔と精神的健康の関連: 行ったことに対する後悔と行わなかったことに対する後悔	塩崎麻里子・中里和弘	2010年3月20日	社会心理学研究, 25巻3号, 211-220.	○
	学術論文 (国内)	生前の故人に対する情緒的依存性の測定	中里和弘	2011年 (In press)	臨床死生学研究	○
	会報誌	「若い死別体験者のための新しい支援事業」について	中里和弘	2010年2月23日	NPO法人 生と死を考える会会報, 121, 4.	
	会報誌	「若い世代の死別について、みんなで考えてみませんか」開催	中里和弘	2010年9月28日	NPO法人 生と死を考える会会報, 124, 2.	
	会報誌	「若い世代の死別について、みんなで考えてみませんか」アンケート報告	中里和弘	2011年2月22日	NPO法人 生と死を考える会会報, 126, 12-15.	
	会報誌	「生」と「死」の連続性から明らかにする人間存在の意味と宗教について	中里和弘	2011年 (In press)	宗教心理学研究会ニューズレター, 14, 10-11.	
	学会発表 (国内)	心理学から見た「生者」と「死者」の繋がりに故人との絆の継続に焦点を当てて。	中里和弘	2010年9月21日	日本心理学会第74回大会	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	中里和弘	平成22年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	日本学術振興会

20	指導教員	佐藤 真一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	田淵 恵	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	高齢者による地域の子育て支援意欲に関わる要因の検討ー内的ワーキングモデル理論を用いた仮説モデルの検討ー	田淵恵・中原純	2010年12月	高齢者のケアと行動科学,15,48-57.	○
	学術論文 (国外)	What factors influence prospective memory for elderly people in a naturalistic setting?	KOUHEI MASUMOTO, CHIHARU NISHIMURA, MEGUMI TABUCHI and AYAKO FUJITA	印刷中	Japanese Psychological Research.	○
	紀要論文	世代性(Generativity)の概念と尺度の変遷	田淵 恵	印刷中	生老病死の行動科学, 15.	○
	学会発表 (国内)	高齢者の「世代性」行動と心理的Well-beingとの関連ー若年者からのフィードバックに着目してー	田淵恵・中川威・石岡良子・河崎円香・権藤恭之・丸島令子	2010年6月17日	老年社会科学大会報告要旨号, 32.	
	学会発表 (国内)	日本語版Valuation of Lifeの信頼性と妥当性の検討	中川 威・河崎円香・石岡良子・田淵 恵・権藤恭之	2010年6月17日	老年社会科学大会報告要旨号, 32.	
	学会発表 (国内)	高齢者による地域子育て支援意欲に関わる要因の検討	田淵恵・中原純	2010年9月3日	第13回日本老年行動科学会抄録集	
	学会発表 (国内)	高齢者のGenerativity尺度における「創造性」の位置づけ	田淵 恵・中川 威・石	2010年9月22日	日本心理学会第74回大会発表論文集.	
	学会発表 (国内)	ワークショップ:子育てにおける3世代の相互作用とその心理的影響ー高齢者、両親、子どもへの影響ー	田淵 恵	2010年9月20日	日本心理学会第74回大会発表論文集.	
	学会発表 (国内)	高齢期における情動調整過程としてのポジティブティ尺度の開発	中川 威・増井 幸恵・田淵 恵・石岡良子・河崎 円香・呉田 陽一・高山 緑・富澤 公子・高橋 龍太郎・権藤 恭之	2010年9月22日	日本心理学会第74回大会発表論文集.	
	学会発表 (国内)	日本版視覚的アナログ気分尺度作成の試み	森本 美奈子・田淵 恵・中原 純	2010年9月22日	日本心理学会第74回大会発表論文集.	
	学会発表 (国内)	青年期における死に対する態度と時間的展望の関係	中原 純・末松 弥歩・田淵 恵	2010年9月22日	日本心理学会第74回大会発表論文集.	
	学会発表 (国内)	高齢者に対する潜在的態度の文化間比較ー日米の大学生の比較ー	安藤 穂積・佐藤 真一・田淵 恵・Narina Nunez	2011年3月27日(予定)	日本発達心理学会第22回大会論文集.	
	学会発表 (国外)	The Supportive Actions for Younger Generations and Psychological Well-being in Elderly People.	Megumi Tabuchi, Takeshi Nakagawa, Yoshiko Ishioka, & Yasuyuki Gondo	2010年11月21日	The Gerontological Society of America's 63rd Annual Scientific Meeting, New Orleans, America	

21	指導教員	佐藤 真一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	中川 威	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	心理的well-beingが高い虚弱超高齢者における老年的超越の特徴	増井幸恵・権藤恭之・河合千恵子・呉田陽一・高山緑・中川威・高橋龍太郎	2010年4月20日	老年社会科学, 32, 33-47.	○
	学術論文 (国内)	超高齢者の語りにもみる生(life)の意味	中川威・増井幸恵・呉田陽一・高山緑・高橋龍太郎・権藤恭之	2011年1月20日	老年社会科学, 32, 422-433.	○
	年報 (国内)	高齢期における心理的適応に関する諸理論	中川威	2011年3月(予定)	生老病死の行動科学, 15(印刷中).	○
	学会発表 (国内)	日本語版Valuation of Lifeの信頼性と妥当性の検討	中川威・河崎円香・石岡良子・田淵恵・権藤恭之	2010年6月10日	老年社会科学, 32, 211.	
	学会発表 (国内)	在宅超高齢者の健康関連QOLに対する高次生活機能と老年的超越の影響	増井幸恵・権藤恭之・呉田陽一・高山緑・中川威・高橋龍太郎・蘭牟田洋美	2010年6月10日	老年社会科学, 32, 202.	
	学会発表 (国内)	超高齢者における健康関連QOLとADLに対する自己効力感の関連	小川まどか・権藤恭之・高山緑・呉田陽一・中川威・高橋龍太郎	2010年6月10日	老年社会科学, 32, 209.	
	学会発表 (国内)	高齢期における情動調整過程としてのポジティブティ尺度の開発	中川威・増井幸恵・田淵恵・石岡良子・河崎円香・呉田陽一・高山緑・富澤公子・高橋龍太郎・権藤恭之	2010年8月	日本心理学会第74回大会発表論文集, 928.	
	学会発表 (国内)	超高齢者の語りにもみる生(life)の意味	中川威・増井幸恵・呉田陽一・高山緑・高橋龍太郎・権藤恭之	2010年9月3日	第13回日本老年行動科学学会大会プログラム, 55.	
	学会発表 (国外)	The Structure of Life in Narratives of the oldest old: A phenomenological study	Takeshi Nakagawa・Yukie Masui・Yoichi Kureta・Midori Takayama・Ryutaro Takahashi・Yasuyuki Gondo	2010年10月4日	16th Qualitative Health Research Conference	○
	学会発表 (国外)	The characteristics of gerotranscendence in frail oldest-old individuals who maintain a high level of psychological well-being	Yukie Masui・Yasuyuki Gondo・Yoichi Kureta・Midori Takayama・Takeshi Nakagawa・Ryutaro Takahashi・Hiromi Imuta	2010年11月20日	63rd Gerontological Society of America	○
	研究会発表 (国外)	The Structure of Life in Narratives of the oldest old: A qualitative study	Takeshi Nakagawa・Yasuyuki Gondo	2010年5月17日	International Centenarian Consortium	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	中川 威	特別研究員奨励費	日本学術振興会

22	指導教員	佐藤 真一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	石岡 良子	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	高齢期における視聴覚機能の低下が及ぼす影響に関する研究の動向と今後の展望	石岡良子	2011年3月(予定)	生老病死の行動科学 15 印刷中	
	著書 (分担執筆)	現代の認知心理学7 認知の個人差 第9章 高齢者の生活環境、ライフスタイルと認知機能	権藤恭之・石岡良子	2011年3月20日	北大路書房	
	学会発表 (国内)	高齢者の認知機能に及ぼす仕事の複雑性の影響	石岡良子・権藤恭之・黒川育代・蓮花のぞみ・河崎円香	2010年9月21日	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.609	
	学会発表 (国内)	高齢者の展望的記憶に外的記憶補助が与える影響について(2)—展望的記憶に影響する認知側面とメモ利用の補償効果—	黒川育代・権藤恭之・石岡良子・蓮花のぞみ・河崎円香	2010年9月22日	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.840	
	学会発表 (国内)	高齢者の展望的記憶に外的記憶補助が与える影響について(1)—メモ利用の効果について—	権藤恭之・黒川育代・石岡良子・蓮花のぞみ・河崎円香	2010年9月22日	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.839	
	学会発表 (国内)	高齢者を対象としたフレーミング効果の検討—認知機能との関連から—	河崎円香・権藤恭之・石岡良子・黒川育代・蓮花のぞみ	2010年9月21日	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.616	
	学会発表 (国内)	高齢期における情動調整過程としてのポジティブ尺度の開発	中川 威・増井幸恵・田淵 恵・石岡良子・河崎円香・呉田陽一・高山 緑・富澤公子・高橋龍太郎・権藤恭之	2010年9月21日	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.928	
	学会発表 (国内)	高齢者のGenerativity尺度における「創造性」の位置づけ	田淵 恵・中川 威・石岡良子・河崎円香・権藤恭之・丸島令子	2010年9月21日	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.1134	
	学会発表 (国内)	高齢者の視聴覚機能に対する主観評価尺度の開発	石岡良子・権藤恭之・黒川育代・蓮花のぞみ・河崎円香	2010年6月17日	第52回 老年社会科学大会報告要旨号, pp201.	
	学会発表 (国内)	日本語版Valuation of Lifeの信頼性と妥当性の検討	中川 威・河崎円香・石岡良子・田淵 恵・権藤恭之	2010年6月17日	第52回 老年社会科学大会報告要旨号, pp211.	
	学会発表 (国内)	高齢者の「世代性」行動と心理的Well-beingとの関連 —若年者からのフィードバックに着目して—	田淵恵・中川威・石岡良子・河崎円香・権藤恭之・丸島令子	2010年6月17日	第52回 老年社会科学大会報告要旨号, pp164.	
	学会発表 (国内)	The Relationship between Work Experiences and Cognitive Functioning in Old Age	Yoshiko Ishioka, Yasuyuki Gondo, Ryutaro Takahashi, Kazunori Ikebe, Yukie Masui, Kei Kamide, Yasumichi Arai, Madoka Ogawa, Takeshi Nakagawa, & Megumi Tabuchi	2011年3月(予定)	9th Tsukuba International Conference on Memory.	
	学会発表 (国内)	The effect of memory compensations on prospective memory performance in elderly people.	Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Madoka Kawasaki, & Yasuyuki Gondo	2011年3月(予定)	9th Tsukuba International Conference on Memory.	
	学会発表 (国内)	The effect of external aids on prospective memory in elderly people.	Hiroki Ymame, Yasuyuki Gondo, Ikuyo Kurokawa, Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Madoka Kawasaki, & Peter G.Rendell	2011年3月(予定)	9th Tsukuba International Conference on Memory.	
	学会発表 (国外)	Reliability and Validity of the Prospective and Retrospective Memory Questionnaire (PRMQ) in Young and Old people: A Japanese Study.	Yasuyuki Gondo, Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Daisuke Ueno, & Peter Rendell	2010年4月	Cognitive Aging Conference 2010, Atlanta, America.	
	学会発表 (国外)	Direct and Indirect Effects of Hearing Loss on Mental Health in Older Adults	Yoshiko Ishioka, Yasuyuki Gondo, Ikuyo Kurokawa, Nozomi Renge, & Madoka Kawasaki	2010年11月20日	The Gerontological Society of America's 63rd Annual Scientific Meeting.	○
	学会発表 (国外)	The Supportive Actions for Younger Generations and Psychological Well-being in Elderly People.	Megumi Tabuchi, Takeshi Nakagawa, Yoshiko Ishioka, & Yasuyuki Gondo	2010年11月21日	The Gerontological Society of America's 63rd Annual Scientific Meeting.	○
	研究会発表	Functional Status of Semi-Super Centenarians and Centenarians in Japan	Yoshiko Ishioka, Yasuyuki Gondo, & Hirose Nobuyoshi	2010年5月18日	International Centenarian Consortium meeting.	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	石岡 良子	平成22年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	日本学術振興会



氏名	稲垣 宏樹	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 1 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
学術論文 (国内)	百寿者介護へのソーシャル・サポート-三者モデルによる考察-	島内晶, 佐藤眞一, 権藤恭之, 増井幸恵, 稲垣宏樹, 広瀬信義	2010年12月	高齢者のケアと行動科学, 15, 34-47	○
学術論文 (国外)	Brief screening tool for mild cognitive impairment in older Japanese: Validation of the Japanese version of the Montreal Cognitive Assessment	Fujiwara, Y., Suzuki, H., Yasunaga, M., Sugiyama, M., Ijuin, M., Sakuma, N., Inagaki, H., Iwasa, H., Ura, C., Yatomi, N., Ishii, K., Tokumaru, A. M., Hommma, A., Nasreddine, Z., and Shinkai S.	2010年7月	Geriatrics & Gerontology International, 10, 225-232	○
学会発表 (国内)	千代田区運動介入プログラムにおける, 心身・社会機能に対する介入効果の検討: 介入前後に実施されたアンケート調査の結果報告	稲垣宏樹, 粟田主一, 佐久間尚子, 伊集院睦雄, 矢富直美, 宇良千秋, 杉山美香, 宮前史子, 大淵修一, 森倉三男	2010年6月17日, 18日	老年社会科学, 32(2), 205	
学会発表 (国内)	地域高齢者における性格5因子モデルと精神的健康低下の関連	岩佐一, 増井幸恵, 権藤恭之, 河合千恵子, 稲垣宏樹	2010年9月20日-22日	日本心理学会第74回大会発表論文集, 415	
学会発表 (国内)	地域高齢者の身体機能の悪化による主観的幸福度の低下とソーシャル・サポートの効果-パネルデータを用いた解析-	小川まどか, 権藤恭之, 増井幸恵, 岩佐一, 稲垣宏樹, 杉澤秀博	2010年9月20日-22日	日本心理学会第74回大会発表論文集, 1139	
学会発表 (国内)	百寿者の心身機能における縦断的变化の検討-100歳時の機能分類は, その後の変化を予測するのか-	稲垣宏樹, 権藤恭之, 増井幸恵, 北川公路	2010年9月20日-22日	日本心理学会第74回大会発表論文集, 1142	
学会発表 (国内)	百寿者の認知機能とADLの追跡調査(4)-東京百寿者研究から-	北川公路, 増井幸恵, 稲垣宏樹, 権藤恭之	2010年9月20日-22日	日本心理学会第74回大会発表論文集, 1143	
学会発表 (国内)	郵送法により実施した日本語版「WHO-5精神的健康状態表」の信頼性・妥当性の検討	増井幸恵, 稲垣宏樹, 岩佐一, 粟田主一	2010年10月27日-29日	第69回日本公衆衛生学会大会論文集	
学会発表 (国内)	平成21年度千代田区生活機能未受診者実態把握と介護予防事業の推進	森倉三男, 粟田主一, 大淵修一, 小島成美, 稲垣宏樹	2010年10月27日-29日	第69回日本公衆衛生学会大会論文集	
学会発表 (国内)	生活機能評価未受診者のうつ, 認知機能低下リスクと介護予防プログラム参加意思	大淵修一, 小島成美, 森倉三男, 稲垣宏樹, 粟田主一	2010年10月27日-29日	第69回日本公衆衛生学会大会論文集	
学会発表 (国内)	運動介入が認知機能に及ぼす影響-効果の測定に有用な認知機能測定尺度の検討	杉山美香, 伊集院睦雄, 佐久間尚子, 稲垣宏樹, 宇良千秋, 宮前史子, 小島成美, 矢富直美, 大淵修一, 粟田主一	2010年10月23日, 24日	第11回認知症ケア学会大会論文集	
学会発表 (国内)	生活機能評価未受診者におけるもの忘れ不安の関連要因について	宇良千秋, 稲垣宏樹, 杉山美香, 伊集院睦雄, 佐久間尚子, 宮前史子, 矢富直美, 小島成美, 大淵修一, 粟田主一	2010年10月23日, 24日	第11回認知症ケア学会大会論文集	
学会発表 (国内)	ウォーキング教室参加の意向に関連する要因の分析-生活機能評価未受診者の実態把握と介護予防事業の推進のための調査から	宮前史子, 粟田主一, 稲垣宏樹, 伊集院睦雄, 佐久間尚子, 矢富直美, 宇良千秋, 杉山美香, 大淵修一	2010年10月23日, 24日	第11回認知症ケア学会大会論文集	
学会発表 (国内)	生活機能評価未受診者の基本チェックリストの因子構造とクラスターについて	矢富直美, 伊集院睦雄, 佐久間尚子, 稲垣宏樹, 杉山美香, 宇良千秋, 宮前史子, 小島成美, 大淵修一, 粟田主一	2010年10月23日, 24日	第11回認知症ケア学会大会論文集	
学会発表 (国内)	高齢者のIT機器了に及ぼす心理的特性の影響(1)-認知機能および生活機能との関連の検討-	稲垣宏樹, 増井幸恵, 小川まどか, 権藤恭之	2011年3月25日-27日	発達心理学会第22回大会大会論文集	
学会発表 (国内)	高齢者のIT機器了に及ぼす心理的特性の影響(2)-高齢期における携帯電話・ビデオ機器の利用開始とBig Five性格特性との関連-	増井幸恵, 稲垣宏樹, 権藤恭之, 小川まどか	2011年3月25日-27日	発達心理学会第22回大会大会論文集	
学会発表 (国内)	地域高齢者のパーソナリティと外出頻度との関連	藺牟田洋美, 増井幸恵, 稲垣宏樹, 権藤恭之	2011年3月25日-27日	発達心理学会第22回大会大会論文集	
学会発表 (国内)	百寿者のライフイベント(4)-東京百寿者研究から-	北川公路, 増井幸恵, 稲垣宏樹, 権藤恭之	2011年3月25日-27日	発達心理学会第22回大会大会論文集	

24	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	河崎 円香	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	高齢者の視聴覚機能に対する主観 評価尺度の開発	石岡良子・権藤恭之・ 黒川育代・蓮花のぞ み・河崎円香	2010年6月	老年社会科学会第52回大会	
	学会発表 (国内)	日本語版 Valuation of Life の信頼 性と妥当性の検討	中川 威・河崎円香・ 石岡良子・田淵 恵・ 権藤恭之	2010年6月	老年社会科学会第52回大会	
	学会発表 (国内)	高齢者の「世代性」行動と心理的 Well-beingとの関連 -若年者から のフィードバックに着目して-	田淵恵・中川威・石岡 良子・河崎円香・権藤 恭之・丸島令子	2010年6月	老年社会科学会第53回大会	
	学会発表 (国内)	高齢者を対象としたフレーミング効果 の検討—認知機能との関連から —	河崎円香・権藤恭之・ 石岡良子・黒川育代・ 蓮花のぞみ	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, 616.	
	学会発表 (国内)	高齢者の展望的記憶に外的記憶 補助が与える影響について(1)—メ モ利用の効果について—	権藤恭之・黒川育代 石岡良子・蓮花のぞ み・河崎円香	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, 839.	
	学会発表 (国内)	高齢者の展望的記憶に外的記憶 補助が与える影響について(2)—展 望的記憶に影響する認知側面とメ モ利用の補償効果—	黒川育代・権藤恭之・ 石岡良子・蓮花のぞ み・河崎円香	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, 840.	
	学会発表 (国内)	高齢者の認知機能に及ぼす仕事 の複雑性の影響	石岡良子・権藤恭之・ 黒川育代・蓮花のぞ み・河崎円香	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, 609.	
	学会発表 (国内)	高齢者の Generativity 尺度における 「創造性」の位置づけ	田淵 恵・中川 威・ 石岡良子・河崎円香・ 権藤恭之・丸島令子	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, 1134.	
	学会発表 (国内)	高齢期における情動調整過程とし てのポジティブティ尺度の開発	中川 威・増井幸恵・ 田淵 恵・石岡良子・ 河崎円香・呉田陽一・ 高山 緑・富澤公子・ 高橋龍太郎・権藤恭 之	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, 928.	
	学会発表 (国外)	Direct and Indirect Effects of Hearing Loss on Mental Health in Older Adults.	Yoshiko Ishioka, Yasuyuki Gondo, Ikuyo Kurokawa Nozomi Renge, & Madoka Kawasaki	2010年11月	The Gerontological Society of America's 63rd Annual Scientific Meeting	
	学会発表 (国外)	The effect of memory compensations on prospective memory performance in elderly people	Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Madoka Kawasaki, Yasuyuki Gondo	2011/3/1(予定)	9th Tsukuba International Conference on Memory	
	学会発表 (国外)	The effect of external aids on prospective memory in elderly people	Hiroki Ymame, Yasuyuki Gondo, Ikuyo Kurokawa, Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, _ & Peter,G.Rendell	2011/3/1(予定)	9th Tsukuba International Conference on Memory	
	学会発表 (国外)	The effect of memory compensations on prospective memory performance in elderly people	Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Madoka Kawasaki, Yasuyuki Gondo	2011/3/1(予定)	9th Tsukuba International Conference on Memory	

25	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員			
	氏名	安藤 穂澄	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	遺産の分配行動の年齢と性別によ る差	安藤穂澄	2011年3月(印刷中)	生老病死の行動科学No.15	○
	学会発表 (国内)	遺産の分配行動の年齢と性別によ る差	安藤穂澄	2010年9月5日	老年行動科学会	
	学会発表 (国内)	高齢者に対する潜在的態度の文化 間比較—一日米の大学生の比較—	安藤穂澄・佐藤眞一・ 田淵恵・Narina Nunez	2011年3月(予定)	日本発達心理学会	

26	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	関 愛子	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	乳がん検診に対する態度の測定	関愛子, 平井啓, 長 塚美和, 原田和弘, 荒井弘和, 狭間礼 子, 石川善樹, 濱島 ちさと, 斎藤博, 渋谷 大助.	2011年2月(予定)	厚生指針(印刷中)	○

27	指導教員	青野 正二	副指導教員	臼井 伸之介		
氏名	西田 幸平	研究分野名	環境心理学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学会発表 (国内)	商業空間における望ましさの評価構造	西田 幸平・青野 正二	2010年3月8日	日本音響学会2010年春季研究発表会講演論文集 1-3-18.		

28	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
氏名	安達 悠子	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学術論文 (国内)	違反に対する潜在的態度測定の試み—Implicit Association Testを用いて—	安達 悠子・臼井 伸之介	2010年8月10日	労働科学, 86(4) 193-207.	○	
学会発表 (国内)	看護業務における違反への潜在的態度測定の試み	安達 悠子・臼井 伸之介	2010年5月29日	日本認知心理学会第8回大会発表論文集, 30.		
学会発表 (国内)	違反への態度に関する場面一貫性の検討	安達 悠子・臼井 伸之介	2010年6月19日	日本人間工学会第51回大会講演集, 132-133.		
学会発表 (国外)	Differences in risk perception among nurses based on experience.	Yuko ADACHI & Shinnosuke USUI.	2010年7月12-16日	27th International Congress of Applied Psychology. Melbourne, Australia.	○	
研究発表会	現場を探す・現場に入る —成功体験・失敗体験からそのノウハウを学ぶ— (企画者: 芳賀繁・大橋智樹)	安達 悠子	2010年12月11日	産業・組織心理学会 第99回研究会(作業部門研究会)		
学会のシンポジウムで話題提供	シンポジウム「医療安全への認知心理学からのアプローチ(企画者: 松尾太加志)」	安達 悠子	2010年5月29日	日本認知心理学会第8回大会		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.6	安達 悠子	2009年度IEEE Reliability Society Japan Chapter Award(学術奨励賞)	IEEE Reliability Society Japan Chapter

29	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
氏名	淵 真輝	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
著書 (分担執筆)	第12編 検疫法・出入国管理及び難民認定法・関税法	淵 真輝	2010年10月1日	概説 海事法規 神戸大学海事科学研究科海事法規研究会編著 成山堂書店		
学会発表 (国内)	船舶の大きさによる許容船間距離の差異	淵 真輝・藤本昌志・広野康平・広野康平・持田高德	2010年6月1日	日本人間工学会第51回大会 講演集 144-145.		

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	淵 真輝	船舶の衝突回避操縦判断に関する研究	日本学術振興会

30	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
氏名	蓮花 のぞみ	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学術論文 (国内)	Reliability and Validity of the Prospective and Retrospective Memory Questionnaire (PRMQ) in Young and Old people: A Japanese Study.	Yasuyuki Gondo, Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Daisuke Ueno, & Peter Rendell	2010年10月	Japanese Psychological Research. 52(3). 175-185.	○	
学術論文 (国内)	交差点における高齢ドライバーの運転行動と自己評価の関係—非高齢ドライバーとの比較—	蓮花のぞみ・多田昌裕・臼井伸之介・蓮花一己	2011年3月(予定)	交通科学, 41(2). (in press)	○	
学会発表 (国内)	運転暴露に関する高齢ドライバーと中年ドライバーの比較	蓮花のぞみ・多田昌裕・蓮花一己・臼井伸之介	2010年6月	日本交通心理学会第75回大会発表論文集, pp.49-52.	○	
学会発表 (国内)	高齢者の視聴覚機能に対する主観評価尺度の開発	石岡良子・権藤恭之・黒川育代・蓮花のぞみ・河崎円香	2010年6月	老年社会科学会第52回大会発表論文集, pp.201.		
学会発表 (国内)	高齢者の展望的記憶に外的記憶補助が与える影響について(1)—メモ利用の効果について—	権藤恭之・黒川育代・石岡良子・蓮花のぞみ・河崎円香	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.839		
学会発表 (国内)	高齢者の認知機能に及ぼす仕事の複雑性の影響	石岡良子・権藤恭之・黒川育代・蓮花のぞみ・河崎円香	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.609.		
学会発表 (国内)	高齢者を対象としたフレーミング効果の検討—認知機能との関連から—	河崎円香・権藤恭之・石岡良子・黒川育代・蓮花のぞみ	2010年9月	日本心理学会第74回大会発表論文集, pp.616.		

学会発表 (国外)	Reliability and Validity of the Prospective and Retrospective Memory Questionnaire (PRMQ) in Young and Old people: A Japanese Study.	Yasuyuki Gondo, Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Daisuke Ueno, & Peter Rendell	2010年4月	Cognitive Aging Conference 2010, Atlanta, America.	
学会発表 (国外)	Differences in driving behaviours between elderly drivers and middle-aged drivers at intersections.	Nozomi Renge, Masahiro Tada, Kazumi Renge, Shinnosuke Usui	2010年7月	27th International Congress of Applied psychology. Melbourne. Australia.	○
学会発表 (国外)	Direct and Indirect Effects of Hearing Loss on Mental Health in Older Adults.	Yoshiko Ishioka, Yasuyuki Gondo, Ikuyo Kurokawa, Nozomi Renge, & Madoka Kawasaki	2010年11月	The Gerontological Society of America's 63rd Annual Scientific Meeting, New Orleans, America.	○
学会発表 (国外)	The effect of memory compensations on prospective memory performance in elderly people.	Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Madoka Kawasaki, Yasuyuki Gondo	2011年3月(予定)	9th Tsukuba International Conference on Memory. Tokyo. Japan.	
学会発表 (国外)	The effect of external aids on prospective memory in elderly people	Hiroki Yamane, Yasuyuki Gondo, Ikuyo Kurokawa, Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Madoka Kawasaki, Peter,G,Rendell	2011年3月(予定)	9th Tsukuba International Conference on Memory. Tokyo. Japan.	
研究会発表	高齢ドライバーの補償行動と運転行動の関連—中年ドライバーとの比較—	蓮花のぞみ・多田昌裕・臼井伸之介・蓮花一己	2010年4月	交通科学, 40(2), 創立40周年記念号(2), pp.41-46.	
文献紹介	健康高齢者における転倒の前駆症状としての実行制御の低下:思考、歩行、転倒に関連する展望的研究 (Executive Control Deficits as a Prodrome to Falls in Healthy Older Adults: A Prospective Study Linking Thinking, Walking, and Falling. Herman T, Mirelman A, Giladi N, Schweiger A, and Hausdorff JM. (J Gerontol A Biol Sci Med Sci. 2010;65A(10): 1086-1092.))	蓮花のぞみ	2011年2月	労働科学, 87(1). pp.39.	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	蓮花のぞみ	平成22年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

31	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	紀ノ定 保礼	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	認知バイアスがサイクリストの無信号交差点横断意図に及ぼす影響	紀ノ定保礼・臼井伸之介	2010年6月6日	日本交通心理学会第75回大会 発表論文集 83-86.	○
	学会発表 (海外)	The Influence of Cognitive Bias on Young Cyclists' Road Crossing Intentions at Non-Signalized Intersections	Yasunori KINOSADA・Shinnosuke USUI	2010年7月11日~16日	27th International Congress of Applied Psychology	○
	研究会発表	自転車利用者の期待が無信号交差点横断意図に及ぼす影響 — 計画的行動理論による検討 —	紀ノ定保礼・臼井伸之介	2010年12月7日	平成22年度大阪交通科学研究会 講演論文集 13-14.	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.5	紀ノ定 保礼	平成22年度国際会議等参加旅費補助金	社団法人日本心理学会

32	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	武市 尚大	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	視覚課題に対する持続的報知音の影響	武市尚大・臼井伸之介	印刷中	人間工学	○
	学会発表 (国内)	視覚探索課題に対する持続的聴覚刺激の影響	武市尚大・臼井伸之介	2010.年11月7日	関西心理学会第122回大会発表論文集, 53.	

33	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	森泉 慎吾	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	リスクテイキング行動尺度の作成と信頼性・妥当性の検討	森泉 慎吾・臼井 伸之介・中井 宏	2010年4月30日	交通科学、40、2、135-136.	○
	学会発表 (国内)	リスク傾向と交通違反経験との関連	森泉 慎吾・臼井 伸之介	2010年12月4日	平成22年度日本人間工学会関西支部大会発表論文集 69-72.	
	学会発表 (国外)	Situational and Gender Consistency of Risk-Taking Behavior in Daily Life.	Shingo Morizumi, Shinnosuke Usui	2010年7月11日	the 27th International Congress of Applied Psychology	
	研究会発表	リスク傾向と交通違反経験との関連	森泉 慎吾・臼井 伸之介	2010年12月7日	大阪交通科学研究会平成22年度学術研究発表会 講演論文集 7-8.	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	森泉 慎吾	大学院生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科
2010.5	森泉 慎吾	平成22年度国際会議等参加旅費補助金	社団法人日本心理学会(承認後辞退)
2010.6	森泉 慎吾	リスク傾向、リスク効用およびリスク知覚がリスクテイキングに及ぼす影響	大阪交通科学研究会

34	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	太刀掛 俊之		
	氏名	羽田 裕哉	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	キーボードの配色が文字入力速度と美的評価に及ぼす影響	羽田裕哉・臼井伸之介	2010年6月19日	日本人間工学会 第51回大会論文集364-365.	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.1	羽田 裕哉	日本人間工学会優秀研究発表奨励賞	日本人間工学会

35	指導教員	志村 剛	副指導教員	八十島 安伸		
	氏名	梶川 美実子	研究分野名	行動生理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文	味覚嫌悪学習の想起における扁桃体基底外側核のGABA伝達の関与	梶川美実子・乾賢・八十島安伸・志村剛	2010年12月1日	日本味と匂学会誌、17、3、259-262	○
	学会発表 (国内)	味覚嫌悪学習の想起における扁桃体基底外側核のGABA伝達の関与	梶川美実子・乾賢・八十島安伸・志村剛	2010年9月8日-10日	日本味と匂学会第44回大会	
	学会発表 (国内)	Female specific alteration in taste-guided behaviors in mice carrying double mutations in phospholipase C-related catalytically inactive protein-1/2 genes	Fumiko Kaiikawa, Yasunobu Yasoshima, Takashi Kanematsu, Masato Hirata, Tsuyoshi Shimura	2011年3月28日-30日	日本生理学第88回大会	○

36	指導教員	志村 剛	副指導教員	熊倉 博雄・八十島 安伸		
	氏名	谷淵 めぐみ	研究分野名	行動生理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	口味溶液の過剰摂取行動における腹側被蓋野グレリンシグナルの役割	谷淵めぐみ・八十島安伸・乾賢・志村剛	2010年9月4日	Neuro2010(第33回日本神経科学大会)	
	学会発表 (国内)	グレリンによる高嗜好性甘味溶液の過剰摂取行動の制御	谷淵めぐみ・八十島安伸・志村剛	2011年3月29日	第88回日本生理学会大会	

37	指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕		
	氏名	西田 豊	研究分野名	行動データ科学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	曖昧さを表現する概念形成モデル	西田 豊	2010年8月15日	知能と情報(日本知能情報ファジィ学会誌), 22(4), 434-442.	○
	学術論文 (国内)	基準率無視と自然頻度の幻想: 等確率性仮説に基づく実験的検討	西田 豊・服部 雅史	2011年3月(予定)	認知科学, 18(1), 印刷中.	
	学会発表 (国内)	カーネル法を用いたクラスタワイス回帰分析	西田 豊	2010年9月7日	2010年度 統計関連学会連合大会講演報告集, 217.	○
	学会発表 (国内)	カテゴリサイズを考慮した次元縮約をともなうファジィカテゴリ形成モデル	西田 豊	2010年9月18日	日本認知科学会第27回大会発表論文集, P2-9.	
	学会発表 (国内)	ワークショップ: 確率判断と因果推論	西田 豊	2010年9月19日	日本認知科学会第27回大会発表論文集, W3.	
	学会発表 (国内)	次元縮約をともなうファジィカテゴリ形成モデル	西田 豊	2010年9月20日	日本心理学会 第74回大会論文集, 474.	
	学会発表 (国内)	クラスタワイス非線形回帰分析	西田 豊	2010年9月24日	行動計量学会 第38回大会抄録集, 128-129.	

38	指導教員	足立 浩平	副指導教員	宮本 友介		
	氏名	橋本 翔	研究分野名	行動データ科学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	ベイジアンの手法を用いた単純な因子負荷の探索	橋本翔	2010年3月7日	第4回日本統計学会春季集会	○
	学会発表 (国内)	因子パターンの単純化を目指したベイジアン因子分析	橋本翔・足立浩平	2010年5月14日	日本計算機統計学会第24回大会	
	学会発表 (国内)	単純構造を持つ斜交解を求めるベイジアン因子分析	橋本翔	2010年9月7日	2010年度統計関連連合大会公演報告集 pp.219	
	学会発表 (国内)	因子負荷の単純構造化をめざしたベイジアン因子分析	橋本翔	2010年9月20日	日本心理学会第74回大会	
	学会発表 (国内)	変動するターゲットを用いて単純構造を求めるベイジアン因子分析	橋本翔	2010年9月24日	日本行動計量学会第38回大会	
	学会発表 (海外)	Bayesian Factor Analysis for Estimating a Simple Loading Matrix with Its Unknown Target	Sho Hashimoto	2010年7月8日	IMPS 2010: The 75th Annual Meeting of the Psychometric Society	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.3	橋本翔	学生優秀発表賞	日本統計学会

39	指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕		
	氏名	里村 裕紀	研究分野名	行動データ科学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	量的変数を外的基準とした新たな多重対応分析	里村 裕紀	2011年3月6日(予定)	第5回日本統計学会春季集会	

40	指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦, 八十島 安伸		
	氏名	岡 健司	研究分野名	行動形態学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	新世界サル固有背筋の機能形態学的研究	熊倉博雄, 岡健司, 廣川容子, 日暮泰男, 平崎鋭矢	印刷中	昭和医学会雑誌	○
	学術論文 (国外)	Three-dimensional motion analysis of hindlimb during brachiation in a white-handed gibbon ( <i>Hylobates lar</i> )	Kenji Oka, Eishi Hirasaki, Yoshiko Hirokawa, Yoshihiko Nakano, Hiroo Kumakura	2010年8月	American Journal of Physical Anthropology 142: 650-654.	○
	学会発表 (国内)	霊長類腰方形筋の筋構築(4)	岡健司, 後藤遼佑, 熊倉博雄	2010年11月3日	Anthropological Science 118: 230.	
	学会発表 (国内)	Muscle Architecture of Quadratus Lumborum in Some Primates. V	Kenji Oka, Ryosuke Goto, Hiroo Kumakura	2011年3月28-30日(予定)	第88回日本生理学会大会 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会 合同大会 予稿集(印刷中)	○

41	指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦		
	氏名	犬飼 康人	研究分野名	行動形態学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	ACL再建術後患者の患側の術前・術後筋力、筋力の改善は年齢によって影響を受けるか?	犬飼 康人, 羽田 晋也, 小林 圭介, 矢田 定明(MD), 米田 憲司(MD), 田川 泰弘(MD), 濱田 雅之(MD)	2010年5月28日	日本理学療法学会大会, Vol. 2009 (2010) No. SPACE pp.C3O2170-C3O2170	
	学会発表 (国内)	膝前十字靭帯再建術後の膝伸展筋力について(第3報)	羽田 晋也, 犬飼 康人, 小林 圭介, 岡野 勝正, 矢田 定明(MD), 米田 憲司(MD), 田川 泰弘(MD), 濱田 雅之(MD)	2010年5月28日	日本理学療法学会大会, Vol. 2009 (2010) No. SPACE pp.C3O2174-C3O2174	
	学会発表 (国内)	身体図式の再構築により移動動作改善に至った症例に対する一考察	西本 直起, 松本 愛子, 犬飼 康人, 稲村 一浩	2010年11月21日	近畿理学療法学会大会, Vol. 2010 (2010) No. SPACE pp.118-	

42	指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦, 八十島 安伸		
	氏名	後藤 遼佑	研究分野名	行動形態学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	写真計測による三次元筋配置の定量について	後藤 遼佑・岡 健司・熊倉 博雄	2010年 10月 2日	Anthropological science, 118, 3, p209	○
	学会発表 (国内)	霊長類 腰方形筋の筋構築(4)	岡 健司・後藤 遼佑・熊倉 博雄	2010年 10月 3日	Anthropological science, 118, 3, p230	
	学会発表 (国内)	ニホンザル下腿筋の三次元的筋配置	後藤 遼佑・岡 健司・熊倉 博雄	2010年 11月 27日	日本解剖学会 第86回 近畿支部学術集会 要旨集, p8	
	学会発表 (国内)	Muscle Architecture of Quadratus Lumborum in Some Primates. V.	Kenji Oka, Ryosuke Goto, Hiroo Kumakura	2011年3月28-30日(予定)	第88回日本工学会大会 第110回日本解剖学会総会・全国学術集会 合同大会 予稿集(印刷中)	

43	指導教員	中道 正之	副指導教員	釘原 直樹・熊倉 博雄		
	氏名	上野 将敬	研究分野名	比較行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	勝山ニホンザル集団における毛づくろいの催促行動への対応	上野将敬・中道正之	2010年12月25日	動物心理学研究第60巻第2号p217	
	研究会発表	勝山ニホンザル集団における毛づくろいの催促に対する反応	上野将敬・中道正之	2010年6月5日	第11回ニホンザル研究セミナー	

44	指導教員	中道 正之	副指導教員			
	氏名	鋤納 有実子	研究分野名	比較行動学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	餌付けニホンザル集団の1歳齢子ザルにおける母の子育てスタイルと子の社会的相互交渉	鋤納 有実子・大西賢治・中道 正之	2010年12月25日	動物心理学研究, 60 (2), pp. 168	
	研究会発表	餌付け集団の1歳齢子ザルにおける母の子育てスタイルと子の社会的相互交渉	鋤納 有実子・大西賢治・中道 正之	2010年6月5日	第11回ニホンザル研究セミナー	
	研究会発表	嵐山ニホンザル集団の1歳齢子ザルにおける母の子育てスタイルと子の社会的な関わり	鋤納 有実子・大西賢治・中道 正之	2010年11月13日	SAGA13	

社会学・人間学系 在籍者 115名 回答者 88名 研究成果 有 52名 成果有の人数(%) 59%  
 回答者率 77% 無 36名

1	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	木前 利秋・吉川 徹	
	氏名	平野 孝典	研究分野名	社会学理論	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名
	年報 (学術論文)	暴力を抑制する構造的条件—殺人率の計量分析から—	平野 孝典	2011年3月(予定)	年報人間科学 第32号(印刷中)
	学会発表 (国内)	経済的ストレスと殺人—クロスセクション、時系列および都道府県別パネル分析—	平野 孝典	2010年5月29日	第61回関西社会学会大会
	学会発表 (国内)	経済的剥奪が殺人率に与える影響—都道府県別パネルデータの分析から—	平野 孝典	2010年11月6日	第83回日本社会学会大会

○

2	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	川端 亮	
	氏名	小柏 円	研究分野名	社会学理論	学年
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名
	学会発表 (国内)	大学生・専門学校生の授業への取り組み	小柏 円	2010年5月30日	関西社会学会第61回大会発表要旨集

MC 2 年次  
 審査有無

3	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	辻 大介	
	氏名	西山 慧	研究分野名	理論社会学	学年
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名
	学会発表 (国内)	大衆教育社会における学生の意識(3)—消費嗜好と社会観・政治的態度について—	西山 慧	2010年5月30日	関西社会学会第61回大会

MC 2 年次  
 審査有無

4	指導教員	木前 利秋	副指導教員		
	氏名	佐藤 貴宣	研究分野名	現代社会学	学年
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名
	学術論文 (国内)	「盲学校における教育実践の規範構造——キャリア教育をめぐる教師の語りを手がかりに」	佐藤貴宣	2011年3月	『年報人間科学』32: 39-55.
	学会発表 (国内)	難性——盲学校における日常の実践を手がかりに」	佐藤貴宣	2010年5月30日	第61回関西社会学会(於名古屋市立大学)

DC 3 年次  
 審査有無

5	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹	
	氏名	平尾 一郎	研究分野名	経験社会学	学年
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名
	報告書 (大学)	The Location of Nonstandard Employment in an Intergenerational Mobility Regime	Ichiro Hirao & Hiroshi Tarohmaru	2011年3月(予定)	佐藤嘉倫編『現代日本の階層状況の解明—マイクロ-マクロ連結からのアプローチ 第1分冊 社会階層・社会移動』平成20-22年度科学研究費補助金・基盤研究(A), 59-73. (印刷中)
	報告書 (大学)	世代間移動研究におけるEDAの活用——理論と方法のさらなる融合を目指して	平尾一郎	2011年3月(予定)	佐藤嘉倫編『現代日本の階層状況の解明—マイクロ-マクロ連結からのアプローチ 第1分冊 社会階層・社会移動』平成20-22 年度科学研究費補助金・基盤研究(A), 345-58. (印刷中)
	学会発表 (国内)	世代間移動研究における機会の平等の再検討——アダム・スウィフトの完全移動批判を参考に	平尾一郎	2010年5月30日	関西社会学会第61回大会発表

DC 3 年次  
 審査有無

6	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹	
	氏名	宮田 尚子	研究分野名	経験社会学	学年
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名
	報告書 (大学)	移行過程にある若者の友人ネットワーク — 従業上の地位と学歴の影響 —	宮田尚子	2011年3月(予定)	現代日本の階層状況の解明——マイクロ-マクロ連結からのアプローチ第3分冊 社会意識・ライフスタイル. (印刷中)
	学会発表 (国内)	就労期の職業意識が中高年男性の社会参加に与える影響	宮田尚子・永吉希久子	2010年5月29日	第61回関西社会学会大会報告要旨集 12
	学会発表 (国内)	学校から仕事への移行と友人ネットワーク—SSM若年層インターネット調査を用いて—	宮田尚子	2010年11月6日	第83回日本社会学会大会報告要旨集 7
	研究会報告	若年層の移行過程とネットワーク—学歴・失業経験・無職期間の影響—	宮田尚子	2010年6月12日	SSM研究会院生ワークショップ

DC 3 年次  
 審査有無



7	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	乾 順子	研究分野名	経験社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	著書 (分担執筆)	第9章主成分分析	川端亮・乾順子	2010年4月20日	川端亮編著 データアーカイブSRDQで学ぶ 社会調査の計量分析、ミネルヴァ書房、127- 142	○
	年報 (学術論文)	正規就業と性別役割分業意識が家事 分担に与える影響	乾順子	2011年3月31日	年報人間科学第32号	
	学会発表 (国内)	就業と家族に関する意識は家事分 担に影響を与えるのか	乾順子	2010年9月10日	第20回日本家族社会学会	
	学会発表 (国内)	女性の就業におけるダグラス＝有 澤法則の検証	乾順子	2010年11月6日	第83回日本社会学会	

8	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	吉岡 洋介	研究分野名	経験社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (科研)	後期キャリアにおける男性の就業 継続と社会階層—コーホート間の 比較を用いて—	吉岡洋介	2011年3月	『現代日本の階層状況の解明 —ミクロ-マク ロ連結からのアプローチ—(1)社会階層・社 会移動—』/科学研究費補助金基礎研究 (A)研究成果報告書(研究課題番号: 20243029):173—190.	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	宮田尚子	高等教育・学生研究センター特別研究員(DC)	学校法人同志社 同志社大学高等研究教育機構

9	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	林 真広	研究分野名	経験社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	局所化するインターネットパドク ス	林 真広	2010年9月1日	第50回数理社会学会大会	
	学会発表 (国内)	回顧項目の妥当性検証	林 真広	2011年3月1日	第51回数理社会学会大会	

10	指導教員	川端 亮	副指導教員	山中 浩		
	氏名	樋口 麻里	研究分野名	経験社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	統合失調症者のアイデンティティ再 構築過程	樋口麻里	2010年5月30日	関西社会学会	

11	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	久山 健太	研究分野名	経験社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	ライフコース追跡研究の分析枠組 みと可能性—職業と家族とパーソ ナリティ長期追跡調査の分析①—	吉川 徹・久山 健太	2010年5月29日	第61回関西社会学会大会報告要旨集2010, 11	

12	指導教員	川端 亮	副指導教員	稲場 圭信		
	氏名	鈴木 正義	研究分野名	経験社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (書評論文)	Religious America, Secular Europe? A Theme and Variations	鈴木正義	2011年3月 (予定)	年報人間科学 第32号	

13	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	田摩 裕祐	研究分野名	経験社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	職業実践による向社会的行動の促 進	田摩 裕祐	2010年9月11日	第50回数理社会学会大会	

14	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	赤枝 尚樹	研究分野名	社会データ科学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	居住地における都市効果の再検討 ——非通念性の規定要因に関する マルチレベル分析	赤枝 尚樹	2010年9月11日	都市社会学会年報, 28: 237-252.	○
	学会発表 (国内)	中高年期の親子関係に対するフイ フイフォーカス論的アプローチ——職業 と家族とパーソナリティ長期追跡 調査の分析③	赤枝尚樹・伊藤理史	2010年5月29日	第61回関西社会学会大会報告要旨 11.	
	学会発表 (国内)	同類結合に対する都市効果の検討 ——エゴセントリック・ネットワーク データに対するマルチレベル分析 の適用	赤枝 尚樹	2010年9月10日	第50回数理社会学会大会報告要旨, 19-22.	
	学会発表 (国内)	都市は人間関係をどのように変え るのか——コミュニティ喪失論・存 続論・変容論の対比から	赤枝 尚樹	2010年11月6日	第83回日本社会学会大会報告要旨.	

15	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	高松 里江	研究分野名	社会データ科学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	「男女間賃金格差における性別職 域分離の影響とそのメカニズムに ついての計量分析	高松里江	2010年4月17日	日本フェミニスト経済学会	○
	学会発表 (国内)	医療専門職の感情労働—(1)感情 労働調査の分析	竹内慶至・高松里江	2010年5月30日	第61回関西社会学会	
	学会発表 (国内)	医療専門職の感情労働—(2)感情 労働調査の分析	高松里江・竹内慶至	2010年5月30日	第61回関西社会学会	
	学会発表 (国内)	医療専門職における感情労働の評 価とその困難」	高松里江	2010年11月6日	第83回日本社会学会大会	
	学会発表 (国外)	Conflict in Care Work and Emotional Labor in Japan	TAKAMATSU, Rie	2010年9月29日	2010 Osaka University Forum "Globalization and Conflict: Entanglement between Local and Cosmopolitan Orientations	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	高松 里江	科学研究費補助金	日本学術振興会

16	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	伊藤 理史	研究分野名	社会データ科学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	著書 (分担執筆)	第6章「政党支持——民主党政権 誕生時の政党支持の構造」	伊藤 理史	2011年2月25日	田辺俊介編, 『外国人へのまなざしと政治意 識』勁草書房, 141-157.	
	学会発表 (国内)	中高年期の親子関係に対するライ フフォーカス論的アプローチ	赤枝 尚樹・伊藤 理 史	2010年5月29日	第61回関西社会学会大会報告要旨集2010, 11	

17	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	白岩 優姫	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	著書 (分担執筆)	第2章 DVとセクシュアル・ハラスメ ント	白岩優姫	2011年3月	「女性と男性がともに暮らしやすい豊中市を つくるためのアンケート調査」結果報告書(印 刷中)	
	翻訳	第7章 違いのある子どもへの母 的思考	白岩優姫	2010年9月10日	牟田和恵 岡野八代監訳 愛の労働あるい は依存とケアの正義論	

18	指導教員	牟田 和恵	副指導教員			
	氏名	藤田 智博	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	著書 (研究ノ ー)	インターネットと排外性の関連にお ける文化差	藤田智博	2011年3月31日	年報人間科学第32号77-86頁	

19	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	KIM VIKTORIYA	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	Agency in the Lives of Women from the Former Soviet Union with Japanese Spouses	KIM VIKTORIYA	2010年9月19日	Sixth International Gender and Language Association Conference, 2010 Panel: Intimate negotiations: international marriage in 21st century Japan	
	学会発表 (国内)	Conflict and Strategies in Cross-border Marriages: The Experiences of Women from the Former Soviet Union and Japanese Men	KIM VIKTORIYA	2010年12月11日	The 3rd Next-Generation Workshop Marrying Japanese	

20	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	鈴木 彩加	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	会報誌	バックラッシュの中の女たち	鈴木 彩加	2010年11月30日	女性学年報、31、176-181	○
	学会発表 (国内)	主婦たちのバックラッシュにみるケアの選好と主婦アイデンティティ	鈴木 彩加	2010年6月20日	2010年度日本女性学会	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.11	鈴木彩加	大学院生調査研究助成	大阪大学グローバルCOE

21	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	玉城 福子	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	沖縄の地方史誌の中の『慰安婦』	玉城福子	2010年5月29日	関西社会学会	○
	学会発表 (国外)	Remembering the Battle of Okinawa, Forgetting the Comfort Women	玉城福子	2010年9月29日	Osaka University Forum 2010	○

22	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	FERMIN, TRICIA ABIGAIL SANTOS	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	会報誌	Pleasurable Transgressions: Discourses on Gender and Sexuality within the Philippine Yaoi Fandom	Tricia Abigail Santos Fermin	2010年8月7日	Second International Conference of Japanese Studies Association in Southeast Asia: Electronic Proceedings, pp. 120-133. http://www.jsa-asean.info/images/2nd%20JSA-ASEAN%20Conference%20Electronic%20Proceedings.pdf	
	研究会発表	Uncovering Hidden Transcripts on Gender and Sexuality in Philippine Society through the Filipino Yaoi Fandom	Tricia Abigail Santos Fermin	2010年7月18日	第15回フィリピン研究会全国フォーラム・The 15th Graduate Student Philippine Studies Forum of Japan	

23	指導教員	辻 大介	副指導教員			
	氏名	百々 徹	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (研究ノート)	『衣装の美術館における身体について』	百々徹	2011年3月	年報人間科学	

24	指導教員	辻 大介	副指導教員			
	氏名	千葉 和矢	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (書評論文)	冷たい親密性	千葉 和矢	2011年3月(予定)	年報人間科学第32号(印刷中)	
	報告書 (大学)	ウェブ空間における炎上の社会学	千葉 和矢	2011年3月(予定)	千葉大学大学院人文社会科学研究所 研究プロジェクト報告書第231集(印刷中)	

25	指導教員	Robert Scott North	副指導教員	山中 浩司		
	氏名	Estella Edith Cheung	研究分野名	文化社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術雑誌 (国外)	Papu's Crooked Hand	Estella Cheung	Issue 6, Winter/Spring 2011	World Pulse Magazine, 6, 11.	

26	指導教員	山中 浩司	副指導教員	斉藤 弥生		
	氏名	真柄 希里穂	研究分野名	文化社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	医療(精神科)から地域へ援助が行くときの合意とはどのようなものか	真柄 希里穂	2010年8月11日~12日	第3回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会	○
	研究会発表	今後の「援助技術論」の授業改善のポイントー全国視聴覚教育全国大会報告(最新・ICT教育から)	真柄 希里穂	2010年11月25日	日本福祉教育専門学校 第2回教授法研究会	
	学会シンポジスト(国内)	文化と福祉: パターナリズム再考	真柄 希里穂	2011年3月18日~19日	第18回多文化間精神医学会学術総会	

27	指導教員	山中 浩司	副指導教員	堤 修三		
	氏名	濱田 佐知子	研究分野名	文化社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	「地域住民の介護福祉に関する理解と認識を深めるための介護福祉士養成施設の取組み-介護講座の受講者の満足度調査に視点をあてて-」	濱田佐知子・熊谷悦生	2010年9月	四天王寺大学紀要50号141-156	○
	紀要論文	「行方不明者」と「行旅死亡人」を分離する行政体制の問題点	濱田佐知子・熊谷悦生	2011年3月(予定)	大阪教育大学発達人間学論叢14号	
	紀要論文	社会科学におけるオッズ比の統計的適用	熊谷悦生・濱田佐知子	2011年3月(予定)	大阪教育大学発達人間学論叢14号	
	著書(分担執筆)	2011社会福祉士国家試験過去問題解説集	濱田佐知子 ほか	2010年5月	(社)日本社会福祉士養成施設協会編集/「高齢者に対する支援と介護保険制度」「介護概論」分担/中央法規出版	
	著書(分担執筆)	福祉実践をサポートする介護概論10章2節 終末期の人への具体的な支援	濱田佐知子	2011年3月31日(印刷中)	菊池信子編/第10章2節142-144. 保育出版社・教育情報出版	

28	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
	氏名	上野山 裕士	研究分野名	福祉社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文(国内)	ソーシャルインクルージョンを基底とした地域ガバナンスに関する研究	上野山裕士	2010年3月31日	地域福祉研究 No.38 88-97	○
	学会発表(国内)	小地域におけるまちづくりに関する研究ースウェーデン・ヴェクショー市まちづくりカフェPanncentralenによるまちづくりの事例からー	上野山裕士	2010年6月13日	日本地域福祉学会	

29	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
	氏名	佐藤 桃子	研究分野名	福祉社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	デンマークの保育サービスにおける利用者参加の仕組みに関する研究	佐藤桃子	2010年6月12日	日本地域福祉学会第24回大会	

30	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
	氏名	樋野 都子	研究分野名	福祉社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	スウェーデンにおける多文化共生の取組みに関する研究ー在住外国人および移民の関連団体へのインタビュー調査からー	樋野都子	2010年6月13日	日本地域福祉学会第24回新潟大会 報告要旨集 p. 84	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	樋野都子	2010年スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団の助成	スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団
2009.11	Miyako Hino	BIDRAG FÖR KORTTIDSVISTELSE I SVERIGE	Svenska institutet

31	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
	氏名	岩佐 恭子	研究分野名	福祉社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	研究ノート	地域福祉の領域と協働する公民館の役割の考察ー公民館の今後のあり方調査をもとにー	岩佐恭子	2011.3(予定)	地域福祉研究/日本生命済生会(印刷中)	○

32	指導教員	齊藤 弥生	副指導教員			
氏名	中島 さやか	研究分野名	福祉社会論	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
年報 (研究ノート)	「つながる力」の育つ学校	中島さやか	2010年4月1日	教育文化学年報		

33	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
氏名	小林 卓也	研究分野名	基礎人間科学・現代記号学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
年報 (研究ノート)	「言語の座—ソシュール言語学における言語の理論的役割について」	小林卓也	2011年3月(予定)	『年報人間科学』第32号(印刷中)		
学会発表 (国内)	「統合失調症によって自然を組織化しなおす—『アンチ・オイディプス』から『千のプラトー』への移行についての粗描—」	小林卓也	2010年4月15日	エラスムス・ムンドゥス・ユーロフィロゾフィー、第二回国際シンポジウム		
学会発表 (国内)	「前期ドゥルーズにおける発生の問題—なぜ動的発生は必要とされるのか—」	小林卓也	2010年5月15日	日本哲学会第69回大会		
研究会発表	「言語活動を自然化する—スペルベル、トマセロ、ドゥルーズ」	小林卓也	2011年3月(予定)	翻訳論研究会(日本記号学会協賛)		

34	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
氏名	佐古 仁志	研究分野名	現代思想	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
年報 (学術論文)	生態学的情報の可能性:生態心理学の拡張に向けて	佐古 仁志	2011年3月31日	年報人間科学、第32号、137-151	○	
学会発表 (国内)	変化における持続の原理としての習慣—パースのプラグマティズムとの関連で	佐古 仁志	2010年5月16日	日本哲学会第69回大会		
学会発表 (国内)	生態記号論的環境考	佐古 仁志	2010年9月11日	日本生態心理学会 第3回大会		
学会発表 (国内)	進化と行為の記号論的關係について:ギゼリンの種の個体説をふまえて	佐古 仁志	2010年9月26日	第20回インテリジェントシステム・シンポジウム講演論文集(FAN2010)		
学会発表 (国内)	ラディカルな身体性認知科学とその展望	佐古 仁志	2010年11月27日	日本科学哲学会第四十三回年次大会		
研究会発表	身体性認知科学のラディカルな進め方	佐古 仁志	2010年11月11日	認知脳GCOE若手ワークショップ「若手研究者が拓く学際融合研究の未来」A-09		

35	指導教員	村上 靖彦	副指導教員	檜垣 立哉		
氏名	塩飽 耕規	研究分野名	現代思想	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学会発表 (国内)	発生的現象学からみた分析家の直観	塩飽 耕規	2010年6月4日	第5回精神分析的な心理療法フォーラム	○	

36	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
氏名	山森 裕毅	研究分野名	現代思想	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学術論文 (国内)	アントナン・アルトーにおける有機体と生殖の問題	山森 裕毅	2010年9月17日	フランス哲学思想研究15号	○	
年報 (学術論文)	フェリックス・ガタリにおける記号論の構築(1)	山森 裕毅	2011年3月14日	年報人間科学32号	○	
学会発表 (国内)	習得の構造としての超越論的経験論とその展開	山森 裕毅	2010年5月15日	日本哲学会		
学会発表 (国内)	ドゥルーズの外国語論	山森 裕毅	2010年3月20日	日仏哲学会		
学会発表 (国外)	Deleuze et une langue étrangère	Yuki Yamamori	2010年4月15日	Erasmus Mundus Euro Philosophie		
研究会発表	翻訳のイメージを再考する	山森 裕毅	2011年3月12日	翻訳論研究会(日本記号学会研究プロジェクト)		

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4.	山森裕毅	日本記号学会研究プロジェクト	日本記号学会

37	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
	氏名	森 元斎	研究分野名	現代思想	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	経験と主体——ドゥルーズ哲学と ホワイトヘッド哲学の差異について	森元斎	2010年10月1日	『プロセス思想』、14、171-184	○
	紀要論文 (研究ノ ート)	ジル・ドゥルーズと土方巽における 超越論的経験論に関する一考察	森元斎、堀尾真理	2010年10月1日	『京都造形芸術大学 紀要 GENESIS』、14、 282-287	○
	年報 (学術論文)	Expérience et Sujet——la philosophie de Whitehead et de Deleuze, la différence entre elles	Motonao Mori	2011年3月(予定)	『年報人間科学』、32	○
	編著	『VOL エピステモロジー』	金森修、近藤和敬、 森元斎編	2011年3月(予定)	以文社	
	学会発表 (国内)	Expérience et Sujet——la philosophie de Whitehead et de Deleuze, la différence entre elles	森元斎	2010年4月5日	Erasmus Mundus Euro Philosophie, 2e Colloque international à Osaka	
	学会発表 (国内)	抱握と実在——ホワイトヘッド『科 学と近代世界』における「抱握」概 念の誕生とその展開	森元斎	2010年5月16日	日本哲学会、66	○
	学会発表 (国内)	ジル・ドゥルーズと土方巽における 主語=主体論	森元斎	2010年6月10日	学際融合教育シンポジウム	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4~	森元斎	日本学術振興会特別研究員	日本学術振興会
2010.4~	森元斎	科学研究費補助金	日本学術振興会

38	指導教員	檜垣立哉	副指導教員	村上靖彦		
	氏名	劉 静瑜	研究分野名	現代思想	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (研究ノ ート)	和辻哲郎の「間柄」についての試論	劉 静瑜	(印刷中)	年報人間科学 第32号(印刷中)	

39	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
	氏名	小倉 拓也	研究分野名	現代思想	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	翻訳	J-K・リー「デジタル空間、リスク指 向経済、そしてハイデガー的な出 口」	小倉拓也	2010年5月1日	現代思想、青土社、198-214	○
	翻訳	P.モンテベロ「ドゥルーズ、反-現象 学」	小倉拓也	2011年3月(予定)	年報人間科学、第32号(印刷中)	○
	年報 (学術論文)	ドゥルーズの言語論における連鎖 と時間性	小倉拓也	2011年3月(予定)	年報人間科学、第32号(印刷中)	○
	学会発表 (国内)	ドゥルーズ哲学における「他者」の 問題	小倉拓也	2010年9月11日	日仏哲学会2010年秋季研究大会/フランス 哲学・思想研究、第16号(印刷中)	○

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.3	小倉拓也	人間科学研究科賞	大阪大学人間科学研究科

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4~	小倉拓也	平成22年度特別研究員奨励費	日本学術振興会

40	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	Schwentker Wolfgang		
	氏名	宮澤 由歌	研究分野名	現代思想	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (書評論文)	Shannon, Winnubst(ed.), Reading Bataille Now.	宮澤 由歌	2011年3月31日	年報人間科学第32号(印刷中)	
	学会発表 (国内)	レオ・ベルサーニの共同体構想に ついて——「family」をめぐる精神分 析批判を一例に	宮澤 由歌	2010年11月21日	クィア学会	
	研究会発表	「見られるものとしての身体」質疑	宮澤 由歌	2010年12月8日	フェミニスト現象学研究会	

41	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
	氏名	坂本 明日美	研究分野名	現代思想	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (書評論文)	Roberto Esposito, <i>BIOS: Biopolitics and Philosophy</i> , University of Minnesota Press.	坂本 明日美	2011年3月(予定)	年報人間科学 第32号	

42	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
	氏名	藤高 和輝	研究分野名	現代思想	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	書評論文	The Psychic Life of Power; Theories in Subjection	藤高和輝	2011年3月1日	年報人間学 第32号	

43	指導教員	Wolfgang schwentker	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	大和田 範子	研究分野名	比較文明学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	書評	The Ideologies of Japanese tea by Tim Cross.	大和田範子	2009年7月1日	年報人間科学	
	留学先での授業発表	Kakuzo Okakura in America	大和田範子	2011年2月24日	Harvard University course: Art in the Contact Zone	
	留学先での授業発表	"The Book of Tea "	大和田範子	2011年3月15日	Emmanuel College course: American Art	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2011.1~3	大和田範子	博士後期課程研究短期留学	大阪大学

44	指導教員	栗本 英世	副指導教員	中川 敏		
	氏名	唐澤 佑子	研究分野名	人類学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国外)	"Gypsy Question in the Czech Republic"	Yuko Karasawa	2010年9月9日	2010 Annual Meeting of The Gypsy Lore Society	

45	指導教員	栗本 英世	副指導教員	中川 敏		
	氏名	西垣 有	研究分野名	文化人類学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文(国内)	都市のテクノロジー:モンゴル、ウランバートル市の都市化とコンパクトシティ計画	西垣有	2010年9月	『文化人類学』75(2)	○

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.11.26	西垣有	第二回みんぱく若手セミナー賞	国立民族学博物館

46	指導教員	栗本 英世	副指導教員	森田 敦郎		
	氏名	登 久希子	研究分野名	人類学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国外)	International Art Exhibitions in the Globalization	Kukiko Nobori	2010年9月28日	2010 Osaka University Forum "Globalization and Conflict"	○

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.4	登 久希子	エラスムス・ムンドゥス・マスター・プログラムに参加して	OIE Bulletin(大阪大学大学院人間科学研究科・人間科学部国際交流室ニュースレターNo.9)

47	指導教員	栗本 英世	副指導教員	中川 敏		
	氏名	松崎 遼子	研究分野名	人類学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国外)	学習者主体の活動における教師の役割——日韓掲示板交流の事例から」パネルセッション「3つの海外交流から見えてきたこと:学習者主体・学習環境・教師の介入(代表:文野峯子)	近藤有美・松崎遼子	2010年7月31日	2010世界日本語教育大会第回研究大会	○

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2011.2	松崎遼子	鬼神の哀しさ	月刊みんぱく2月号 p.7

48	指導教員	栗本 英世	副指導教員	中川 敏		
氏名	藤井 真一	研究分野名	人類学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
翻訳	ロベルト・バシック「アルピジェラにおけるコンテクストの痕跡」(配布資料)	藤井真一、酒井朋子	2010年10月16日	大阪大学総合学術博物館特別展示ラウンドテーブル「抵抗を縫う—チリのキルトにおける触覚の物語」		
翻訳	C・B・イェンセン&K・ロジェ「序章」(配布資料)	藤井真一	2010年12月13日	最先端ときめき研究推進事業「バイオサイエンス時代における人間の未来」第6回ときめき☆セミナー「Deleuzian Intersections」		

49	指導教員	森田 敦朗	副指導教員	中川 敏		
氏名	山本 文子	研究分野名	人類学	学年	DC 3 年次	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	山本文子	国際交流活動助成	財団法人りそなアジア・オセアニア財団
2010.4	山本文子	大学院生等に対する研究活動助成	公益信託澁澤民族学振興基金

50	指導教員	栗本 英世	副指導教員	中川 敏		
氏名	伊東 未来	研究分野名	人間と文化	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学会発表(国内)	マリ共和国ジェンネの大モスク改修について	伊東未来	2010年5月29日	日本アフリカ学会第47回学術大会		
フォーラム(国内)	マリ共和国とはどのような国なのか	伊東未来	2010年3月20日	『青少年のための国際理解教育の祭典』(国立民族学博物館共同研究プロジェクト「小・中学校、高等学校の国際理解教育の理論と実践に関する研究」)		○
フォーラム(国内)	異なることの共同カーマリ共和国ジェンネを事例に	伊東未来	2010年10月16日	第6回松下国際スカラシップフォーラム		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.3	伊東未来	世界の葬送事情—マリ共和国	『再生』(NPO法人葬送の自由をすすめる会)76号
2010.12	伊東未来	「泥のモスクは誰のもの」	『月刊みんぱく』第34巻12号

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.7~	伊東未来	特別研究員(DC2)	日本学術振興会

51	指導教員	栗本 英世	副指導教員	中川 敏		
氏名	李 豪軒	研究分野名	人間と文化	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学会発表(国内)	電子業界における日本企業と台湾企業のエンジニアの比較—共同体意識と「株」からの考察—	李 豪軒	2010年9月4日	産業・組織心理学会第26回大会論文集 P.57~P.60		

52	指導教員	森田 敦朗	副指導教員			
氏名	松本 篤	研究分野名	人間と文化	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
報告書(大学)	記録のエコノミー 記憶のエコロジー -持続可能な映像アーカイブのデザインに資する考察-	松本篤・八木寛之	2011年3月31日	平成22年度大阪市立大学新産業創生研究「映像資料コンテンツの作成と活用の事業化モデル」事業報告書 pp.01-16		
報告書(研究所)	映像ワークショップの調査研究と実践およびインデックス作成	松本篤・久保田テツ・櫻田和也・甲斐賢治・久保田美生	2011年3月31日	平成22年度文化庁メディア芸術人材育成支援事業「ワークショップ・オン・ワークショップ」事業報告書 pp.01-100		
研究会発表	みることの複数性 - デザイン、コミュニティ、パッケージ	松本篤	2010年12月15日	G-COEプログラム親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点「ヴィジュアル・イメージと親密圏/公共圏」		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2011.1.1	松本篤	写真と人の物語	橋を渡る人の「街事情」マガジン 月刊「島民」vol.30



教育学系	在籍者 127名	回答者 103名	研究成果 有 64名 無 39名	成果有の人数(%) 62%
	回答者率 81%			

1	指導教員	藤川 信夫	副指導教員			
	氏名	竹田 康子	研究分野名	教育人間学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (学術論文)	活動理論から見たモンテッソーリ教育の成立過程	竹田 康子	2011年3月 (予定)	大阪大学教育学年報 第15号	

2	指導教員	藤川 信夫	副指導教員			
	氏名	江川 美由紀	研究分野名	教育人間学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要	回想法的レビューで取り組んだ京都短期大学の地域貢献と授業の評価	江川美由紀・森永夕美・後藤多美子	2010年3月1日	京都短期大学紀要 第38巻 第1号	○
	学会発表 (国内)	介護総合演習の方略と検討	江川美由紀・森永夕美・後藤多美子	2010年8月23日	第17回日本介護福祉教育学会	
	学会発表 (国内)	地域連携による介護福祉士養成教育の取り組み	森永夕美・江川美由紀・後藤多美子	2010年11月21日	日本プライマリ・ケア学会第24回近畿地方会	

3	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	辻岡 圭子	研究分野名	教育工学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	日本語での文字／音声提示による課題文が判断に及ぼす影響—情緒性／向性課題の回答と反応時間の比較から—	辻岡圭子	2011年3月31日	大阪大学教育学年報, 第16号, 33-44	
	学会発表 (国内)	文字または音声による設問の判断への影響—反応時間からの一検討	辻岡圭子・前迫孝憲	2010年9月18日	日本教育工学会第26回全国大会講演論文集, 315-316	

4	指導教員	三宮 真智子	副指導教員			
	氏名	大谷 和太	研究分野名	教育コミュニケーション学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	学業における自己価値の随伴性が内発的動機づけ低下に及ぼす影響プロセス—状態的自尊感情と失敗場面の感情を媒介として—	大谷和太・中谷素之	2011年3月(予定)	パーソナリティ研究(印刷中)	○
	学会発表 (国外)	Academic Contingency of Self-worth and Achievement in Japanese Adolescents	K. Ohtani & M. Nakaya	2010年7月11日	27th International Congress of Applied Psychology	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.7	大谷和太	平成22年度大学院生国際研究会参加支援プログラム	大阪大学グローバルCOEプログラム

5	指導教員	三宮 真智子	副指導教員	前迫 孝憲		
	氏名	宮田 仁	研究分野名	教育コミュニケーション	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	携帯ゲーム機・携帯電話・GPSロガーを活用した草花DB付き草花同定・観察マップ作成支援システムの開発と評価	宮田 仁, 石上三雄, 三宮真智子, 松下絵里加	2010年12月10日	日本教育工学会論文誌, 34巻(S)	○
	学術論文 (国外)	Development and evaluation of web-based mobile contents for logical thinking by teaching students 'how to think'	Hitoshi Miyata, Machiko Sannomiya	2011年2月8日	International Journal of Mobile Learning and Organization, Vol.4. No.4,	○
	学会発表 (国外)	Classroom, Ubiquitous, and Mobile Advanced Technologies to Enhance Learning	Hitoshi Miyata, Machiko Sannomiya	2010年8月24日	the 12th International Conference of Computers and Advanced Technology for Learning (GATE2010)	○
	学会発表 (国内)	ICTを活用した「ハノイの塔」における問題解決過程の分析	宮田 仁, 三宮真智子	2010年9月18日	日本教育工学会第25回全国大会	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.8.	宮田 仁 (Hitoshi MIYATA)	Recognition of Outstanding Performance on Keynote Paper of the 13th International Conference of Computers and Advanced Technology for Learning	The International Association of Science and Technology for Development (IASTED)

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4.	宮田 仁	科学研究費 基盤研究C	日本学術振興会

6	指導教員	三宮 真智子	副指導教員			
	氏名	山村 麻予	研究分野名	教育コミュニケーション学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	児童期における向社会的行動の表出・非表出に関する認知～情緒的共感・認知的共感との関連から～	山村麻予・中谷素之	2010年8月27日	日本教育心理学会第52回総会論文集	
	学会発表 (国内)	具体的援助がない行動を児童はどのように評価しているのか～非表出的向社会的行動への評価における学年差の検討	山村麻予	2011年3月26日(予定)	第22回日本発達心理学会大会論文集	
	学会発表 (国外)	The development of the perception of "overt" and "covert" prosocial behavior in Japanese children	Asayo Yamamura・Motoyuki Nakaya	2010年7月	27th International Congress of Applied Psychology	
	その他 (シンポジウム)	特別支援教育と教科教育の融合	山村麻予 (指定討論)	2011年1月30日	京都教育大学特別支援臨床実践センター	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4.～	山村麻予	特別研究員研究奨励費	日本学術振興会

7	指導教員	三宮 真智子	副指導教員			
	氏名	山口 洋介	研究分野名	教育コミュニケーション学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国外)	Relationship between writing strategy and writing performance of Japanese elementary school students	Yosuke Yamaguchi / Motoyuki Nakaya	2010年7月12日	27th International Congress of Applied Psychology (International Association of Applied Psychology)	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010. 4	山口 洋介	平成22年度大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科

8	指導教員	藤岡 淳子	副指導教員	井村 修		
	氏名	松原 秀子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	SC領域におけるフィードバックセッションの試み	松原 秀子	2010年6月20日	包括システムによる日本ロールシャッハ学会第16回大会	
	学会発表 (国内)	DV家庭で育った不登校の姉妹への援助～SSWrと連携して～	松原 秀子	2010年6月26日	日本遊戯療法学会第16回大会	
	学会発表 (国内)	初任SCの訪問カウンセリングの試み～セラピーの基本原則との狭間で揺れながら～	松原 秀子	2010年9月4日	日本心理臨床学会第16回大会	

9	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	岡尾 裕美子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (研究ノート)	本学の現状を踏まえた情報共有	岡尾 裕美子	2010年12月1日	帝塚山大学学生相談室年報 3号	
	年報 (研究ノート)	集団守秘義務	岡尾裕美子・小畑周介	2010年12月1日	帝塚山大学学生相談室年報 3号	

10	指導教員	老松 克博	副指導教員			
	氏名	菅生 聖子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要	息子の不登校を主訴として来談した母親との面接過程	菅生聖子	2010年12月1日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室	○
	学会発表(国外)	A Qualitative Research On Psychological Impacts of Abortion	Shoko SUGAO	2010年10月29日	16th International Congress of the International Society of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology.	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	菅生聖子	特別研究員DC2	日本学術振興会

11	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	成田 慶一	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文(国内)	医療に関する達成動機尺度の開発～がん医療インフォームド・コンセントの観察研究にむけて～	八田太一, 成田慶一, 柳原一広, 石黒洋, 岸本寛史, 林晶子, 猪原登志子, 南学, 村山敏典, 横出正之	2011年1月1日	心身医学51(1)pp73-79	○
	学術論文(国内)	Trend Analysis of Informed Consent Research in Clinical Trials: Comprehensive Retrieval via Electronic Databases	Hatta T, Murayama T, Narita K, Sumi E, Yokode M	2011年1月31日	Jpn J Clin Pharmacol Therapeutics, 42(1) pp21-25	○
	学術論文(国外)	The effects of exercise therapy on delirium in cancer patients: a retrospective study	Noriatsu Tatematsu, Akiko Hayashi, Keiichi Narita, Akira Tamaki, Tadao Tsuboyama	2010年4月30日	Support Care in Cancer. Publish Online:April 30 2010 DOI 10.1007/s00520-010-0874-1	○
	著書(分担執筆)	自由連想法VSアクティブ・イマジネーション	成田 慶一	2010年3月24日	山中康裕編 心理学対決!フロイトVSユング ナツメ社 pp.118-121	
	著書(分担執筆)	コミュニケーション	成田 慶一	2010年3月25日	京都大学がんプロフェッショナル養成プラン 緩和医療医コース 緩和医療レクチャー がん患者の症状緩和のために 遠見書房 pp.189-207	
	学会発表(国内)	運動が癌患者のせん妄に及ぼす影響	立松 典篤, 林 晶子, 成田 慶一, 玉木 彰, 坪山 直生	2010年5月28日	第45回理学療法学会学術大会(岐阜)	
	学会発表(国内)	運動は癌患者のせん妄に影響を及ぼすか?—せん妄発症後の抗精神病薬投薬量に着目して—	立松 典篤, 林 晶子, 成田 慶一, 岸本 寛史, 玉木 彰, 坪山 直生	2010年6月18日	第15回日本緩和医療学会学術大会(東京)	
	学会発表(国内)	筋ジストロフィーの新人看護師は臨床心理士に何を語るか?	良原誠崇, 成田 慶一, 井村修	2010年9月4日	第29回日本心理臨床学会 ポスター発表	
	学会発表(国内)	外来化学療法のインフォームド・コンセントにおけるところとからだのモードバランス～質問紙と対話内容をあわせたミックス法を用いた観察研究より～	八田太一, 成田 慶一, 柳原 一広, 岸本 寛史, 林晶子, 猪原 登志子, 南学, 村山 敏典, 横出 正之	2011年2月5日	第51回日本心身医学会近畿地方会 ポスター発表	
	学会発表(国外)	Congenital prosopagnosia or dissociation? - How psychotherapy works in neurological fields	Keiichi Narita, Kazuyuki Hirao, Reiji Sasaki, Shizuko Tanaka, Jun Miyata, Harumi Naka, Yasutaka Kubota, Megumi Yama, Norifumi Kishimoto	2010年7月25日	11th International Neuropsychanalysis Congress, Seattle. Poster Presentation	
	研究会発表	抗がん治療の説明と同意 外来化学療法部におけるインフォームド・コンセント観察研究 ～MORE-IC Project～	成田 慶一	2010年10月16日	がんプロフェッショナル養成プラン「高度がん医療を先導する人材養成拠点の形成」京大病院積真棟開棟記念シンポジウム がん医療におけるコミュニケーション シンポジウム	

12	指導教員	老松 克博	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	松本 拓真	研究分野名	臨床心理	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	心理療法の考えが学生相談にもた らすもの～カウンセラーが考えるこ とを続けるために～	松本 拓真	2011年3月25日(予定)	佛教大学学生相談室年報 19号	○
	翻訳	“Child Psychotherapy and Research” 翻訳	鶴飼奈津子監訳、松 本拓真他訳	2011年【近日発行予定】	創元社	
	学会発表 (国内)	乳児に見られる人格の未統合と家 族の中での発達-タビストック方式 乳児観察で見られる日常場面の 発達-	松本 拓真	2010年9月5日	第29回日本心理臨床学会秋季大会	
	研究会発表	学生相談における精神分析的心理 療法の方法とその可能性	松本 拓真	2010年5月8日	第4回精神分析フォーラム	

13	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	松本 美和子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	娘が家出をした母親の面接過程	松本美和子	2011年1月1日	大阪大学心理教育相談室紀要	

14	指導教員	老松 克博	副指導教員			
	氏名	山本 典子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	生体腎移植のドナーに関する臨床 心理学的考察II—腎提供という体 験—	山本典子、高原史郎	2010年6月15日	今日の移植、23、3、277-282	○
	紀要論文	生体腎移植のドナーに関する心理 学的考察—C.G.Jung『ヨブへの答 え』をととして—	山本典子	2011年3月(予定)	奈良県立医科大学一般教育紀要 Humanitas、36(印刷中)	
	学会発表 (国内)	生体腎移植のレシピエントに関す る臨床心理学的研究—描画をとし て—	山本典子、矢澤浩 治、奥見雅由、市丸 直嗣、児島康行、高 原史郎	2010年10月22日	第46回日本移植学会総会 309	

15	指導教員	老松 克博	副指導教員			
	氏名	筒井 優介	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	人間関係に問題があるという高校 生男子との面接過程	筒井優介	2010年	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相 談室紀要 16,59-66.	

16	指導教員	老松 克博	副指導教員			
	氏名	速見 佳子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	全身に原因不明の痛みを訴える少 女の母親との面接過程—母とし て、一人の女性として—	速見佳子	2010年12月28日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相 談室紀要16, 71-6*83	

17	指導教員	老松 克博	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	森 文彦	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	事例論文	2年以上パチンコから離れている依 存症サラリーマンとの面接経過	森文彦	2010年12月28日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相 談室紀要第16号	

18	指導教員	老松 克博	副指導教員			
氏名	柴田 早紀	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
報告書 (研究所等)	筋ジストロフィーという病気のより 良い説明の仕方と受容過程に関する 臨床心理学的研究—患者家族 のインタビューから	柴田早紀	2010年3月	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジ ストロフィーの集学的治療と均てんかに関する 研究(筋ジス研究神野進)平成21年度研究成 果報告書, 41.		
報告書 (研究所等)	筋ジストロフィーという病気のより 良い説明の仕方と受容過程に関する 臨床心理学的研究—成人患者 のインタビューから	高田紗英子・柴田早 紀・須山未菜・岩田優 子・中野恵里・松村 剛・齊藤利雄・豊岡圭 子・猪山昭徳・安井久 美子・斎藤朋子・神野 進	2010年3月	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋 ジストロフィーの集学的治療と均てんかに関 する研究(筋ジス研究神野進)平成21年度研 究成果報告書, 40.		
報告書 (大学)	筋ジストロフィー患者の家族への調 査	柴田早紀・中野恵里・ 高田紗英子・須山未 菜・岩田優子・藤野陽 生・井村修・藤村晴俊	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委 託費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん かに関する研究(筋ジス研究班:班長神野進) 筋ジストロフィーという病の告知に関する総合 的研究 研究成果報告書, 45-60.		
報告書 (大学)	告知に関するこれまでの研究の紹 介	中野恵里・高田紗英 子・柴田早紀・須山未 菜・岩田優子・藤野陽 生・藤村晴俊・井村 修	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委 託費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん かに関する研究(筋ジス研究班:班長神野進) 筋ジストロフィーという病の告知に関する総合 的研究 研究成果報告書, p22-26		
報告書 (大学)	デュシェンヌ型筋ジストロフィー児 への医師の告知に関する研究	藤野陽生・高田紗英 子・柴田早紀・須山未 菜・岩田優子・中野恵 里・藤村晴俊・井村 修	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委 託費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん かに関する研究(筋ジス研究班:班長神野進) 筋ジストロフィーという病の告知に関する総合 的研究 研究成果報告書, p61-90		
報告書 (大学)	筋ジストロフィー患者への調査	高田紗英子・須山未 菜・岩田優子・柴田早 紀・中野恵里・藤野陽 生・藤村晴俊・井村 修	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委 託費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん かに関する研究(筋ジス研究班:班長神野進) 筋ジストロフィーという病の告知に関する総合 的研究 研究成果報告書, p27-44		
学会発表 (国外)	Investigation of actual truth-telling for patients with Duchenne Muscular Dystrophy: Interviews with patients and their families	Saeko Takada, Saki Shibata, Osamu Imura	2010年7月14日	27th International Congress of Applied Psychology		
研究会発表	筋ジストロフィー患者の家族に対す る臨床心理学的アプローチ(多施 設共同研究)	柴田早紀・中野恵里・ 高田紗英子・岩田優 子・藤野陽生・結城奈 穂	2010年12月7日	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費 筋ジ ストロフィーの集学的治療と均てん化に関する 研究(筋ジス研究神野班)平成22年度班会議 (研究成果報告会)プログラム・抄録集, 117		
研究会発表	筋ジストロフィーという病を伝えるこ と—患者体験から	岩田優子・高田紗英 子・柴田早紀・中野恵 里・藤野陽生・結城奈 穂・山入端津由・上田 幸彦・平山篤史・石川 清司・諏訪園秀吾・眞 喜屋実祐	2010年12月7日	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費 筋ジ ストロフィーの集学的治療と均てん化に関 する研究(筋ジス研究神野班)平成22年度班 会議(研究成果報告会)プログラム・抄録集, 116		
研究会発表	筋ジストロフィー児への病気の説明 に関する調査—医師を対象とし て—	藤野陽生・高田紗英 子・柴田早紀・岩田優 子・中野恵里・結城奈 穂・松村剛・齊藤利 雄・日本小児神経学 会	2010年12月7日	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費 筋ジ ストロフィーの集学的治療と均てん化に関 する研究(筋ジス研究神野班)平成22年度班 会議(研究成果報告会)プログラム・抄録集, 118		
その他 (シンポジウ ム)	筋ジストロフィーという病の望まし い伝え方を考える—家族への調査 の結果から—	柴田早紀	2010年9月13日	沖縄国際大学・大阪大学・沖縄病院共同シ ンポジウム「筋ジストロフィーという病の望ま しい伝え方を考える」		

19	指導教員	井村 修	副指導教員	老松 克博		
氏名	上條 史絵	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学会発表 (国内)	口頭発表「切り離れた自己との出会 い—意識化の過程で為しえたこと、 為しえなかったこと—」	上條 史絵	2010年9月4日	日本心理臨床学会第29回大会論文集 120		
シンポジウ ム 企 画	「心理療法における錬金術プロセス の検討Ⅱ」	上條 史絵	2010年9月4日	日本心理臨床学会第29回大会論文集 623		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.9	上條 史絵	産業部会第4回研修会「働く人のメンタルヘルス をめぐる法律」報告	大阪府臨床心理士会ニュースレター第31号 13

20	指導教員	井村 修	副指導教員			
氏名	草野 直子	研究分野名	臨床心理学分野	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学会発表 (国内)	治療関係に見られる、思春期クライ エントの時間的展望の変容過程	草野直子	2010年9月25日	日本人間性心理学会第29回大会発表論文集 214-215		

21	指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一		
氏名	高田 紗英子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
紀要論文	一般成人女性を対象としたDV被害に関する実態調査	高田 紗英子・牧田 潔・加藤 寛	2010年10月1日	心的トラウマ研究第6号	○	
紀要論文	片目で世界を見続ける男の子とのプレイセラピー	高田 紗英子	2011年1月1日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要第16巻		
学会発表 (国外)	Investigation of actual truth-telling for patients with Duchenne Muscular Dystrophy-interviewing with patients and their families.	Saeko Takada・Osamu Imura・Saki Shibata	2010/7/14. Melbourne, Australia	27th International Congress of Applied Psychology	○	
学会発表 (国外)	Epidemiological survey on Domestic Violence-focused on perceptions and experience of general population of women.	Saeko Takada・Kiyoshi Makita・Hiroshi Kato	2010/9/28. Hawaii, USA	XVIII ISPCAN International Congress on Child Abuse and Neglect.	○	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.11	高田 紗英子	兵庫県内におけるDV被害の実態について	神戸新聞、朝日新聞

22	指導教員	井村 修	副指導教員			
氏名	三浦 千穂	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
学会発表 (国内)	摂食障害の子を持つ母親の心理的变化過程	三浦千穂	2010年10月2日	日本摂食障害学会総会・学術集会第14回大会抄録集 78頁		

23	指導教員	井村 修	副指導教員	老松克博・佐々木 淳		
氏名	岩田 優子	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無	
報告書 (大学)	チュータン一家のこころのみちるべ②筋ジストロフィーのこころのケア～筋ジストロフィーの患者さんとご家族への心理支援～	井村 修・良原誠崇・又吉辰也・森 良信・酒井 彰・平山篤史・東井伸雄・藤澤真莉・奥間めぐみ・高田紗英子・柴田早紀・岩田優子・酒見惇子・中野恵里・藤野陽生・結城奈穂・赤嶺遼太郎	2011年3月(予定)	編集 厚生労働省精神神経疾患研究委託費筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究		
研究会発表	筋ジストロフィーという病を伝えること-患者体験から	井村修・藤村晴俊・岩田優子・高田紗英子・柴田早紀・中野恵里・藤野陽生・結城奈穂・山入端津由・上田幸彦・平山篤史・石川清司・諏訪園秀吾・眞喜屋実祐	2010年12月	平成22年度 厚生労働省精神・神経疾患研究開発費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究 (筋ジス研究神野班) 平成22年度班会議(研究成果報告会)		
研究会発表	筋ジストロフィー患者の家族に対する臨床心理学的アプローチ(多施設共同研究)	井村修・藤村晴俊・柴田早紀・中野恵里・高田紗英子・岩田優子・藤野陽生・結城奈穂・松村剛・齋藤利雄	2010年12月	平成22年度 厚生労働省精神・神経疾患研究開発費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究 (筋ジス研究神野班) 平成22年度班会議(研究成果報告会)		
研究会発表	筋ジストロフィー児への病気の説明に関する調査-医師を対象として-	井村修・藤村晴俊・藤野陽生・高田紗英子・柴田早紀・岩田優子・中野恵里・結城奈穂・松村剛・齋藤利雄・日本小児神経学会	2010年12月	平成22年度 厚生労働省精神・神経疾患研究開発費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究 (筋ジス研究神野班) 平成22年度班会議(研究成果報告会)		
シンポジウム 話題提供	筋ジストロフィー患者の内的世界理解の可能性	岩田優子	2010年9月	沖縄国際大学・大阪大学・沖縄病院 第3回共同研究会&シンポジウム『筋ジストロフィー患者の心理支援を考える』		

24	指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	中野 恵里	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	筋ジストロフィーという病を伝えること—患者体験から	岩田優子・高田紗英子・柴田早紀・中野恵里・藤野陽生・結城奈穂・山入端津由・上田幸彦・平山篤史・石川清司・諏訪園秀吾・眞喜屋実祐	2010年12月6日	厚生労働省科学研究費委託『筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究』平成22年度班会議(神野進班)	
	学会発表 (国内)	筋ジストロフィー患者の家族に対する臨床心理学的アプローチ(多施設共同研究)	柴田早紀・中野恵里・高田紗英子・岩田優子・藤野陽生・結城奈穂・松村剛・齋藤利雄	2010年12月6日	厚生労働省科学研究費委託『筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究』平成22年度班会議(神野進班)	
	学会発表 (国内)	筋ジストロフィー児への病気の説明に関する調査—医師を対象として—	藤野陽生・高田紗英子・柴田早紀・岩田優子・中野恵里・結城奈穂・松村剛・齋藤利雄・日本小児神経学会	2010年12月6日	厚生労働省科学研究費委託『筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究』平成22年度班会議(神野進班)	

25	指導教員	井村 修	副指導教員	佐々木 淳		
	氏名	藤野 陽生	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (委託研究)	告知に関するこれまでの研究の紹介	中野恵里・高田紗英子・柴田早紀・須山未菜・岩田優子・藤野陽生・藤村晴俊・井村修	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究班:班長神野進)『筋ジストロフィーという病の告知に関する総合的研究』研究成果報告書, 22-26	
	報告書 (委託研究)	筋ジストロフィー患者への調査	高田紗英子・須山未菜・岩田優子・柴田早紀・中野恵里・藤野陽生・藤村晴俊・井村修	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究班:班長神野進)『筋ジストロフィーという病の告知に関する総合的研究』研究成果報告書, 27-44	
	報告書 (委託研究)	筋ジストロフィー患者の家族への調査	柴田早紀・中野恵里・高田紗英子・須山未菜・岩田優子・藤野陽生・藤村晴俊・井村修	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究班:班長神野進)『筋ジストロフィーという病の告知に関する総合的研究』研究成果報告書, 45-60	
	報告書 (委託研究)	デュシェンヌ型筋ジストロフィー児への医師の告知に関する研究	藤野陽生・高田紗英子・柴田早紀・須山未菜・岩田優子・中野恵里・藤村晴俊・井村修	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究班:班長神野進)『筋ジストロフィーという病の告知に関する総合的研究』研究成果報告書, 61-90	
	報告書 (委託研究)	文献紹介「James Poyisky・Kathi Kinnett (2009): Workshop report, Facilitating family adjustment to a diagnosis of Duchenne muscular dystrophy: April 24-25, 2008, Miami, Florida Neuromuscular	井村 修・藤野陽生・中野恵里	2010年3月	平成21年度厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究班:班長神野進)『筋ジストロフィーという病の告知に関する総合的研究』研究成果報告書, 98-110	
	報告書 (委託研究)	デュシェンヌ型筋ジストロフィー児への医師による告知に関する研究(多施設共同研究)	藤野陽生	2010年3月	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究神野班)平成20・21年度研究成果報告書, H21-42	
	学会発表 (国内)	臨床動作法を用いたリラクゼーション体験による身体意識の変化についての研究—身体感覚意識尺度の作成を通じて—	藤野陽生・井村修	2010年12月	2010年日本リハビリテーション心理学会発表論文集, 38-39	
	学会発表 (国内)	立位姿勢保持における意図の効果—健康成人を調査対象として—	井村修・松浦由加子・藤野陽生	2010年12月	2010年日本リハビリテーション心理学会発表論文集, 40-41	
	研究会発表 (班会議)	筋ジストロフィーという病を伝えること—患者体験から	岩田優子・井村修・藤村晴俊・高田紗英子・柴田早紀・中野恵里・藤野陽生・結城奈穂・山入端津由・上田幸彦・平山篤史・石川清司・諏訪園秀吾・眞喜屋実祐	2010年12月	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究神野班)平成22年度班会議抄録集, 116	
	研究会発表 (班会議)	筋ジストロフィー患者の家族に対する臨床心理学的アプローチ(多施設共同研究)	柴田早紀・井村修・藤村晴俊・中野恵里・高田紗英子・岩田優子・藤野陽生・結城奈穂・松村剛・齋藤利雄	2010年12月	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究神野班)平成22年度班会議抄録集, 117	
	研究会発表 (班会議)	筋ジストロフィー児への病気の説明に関する調査	藤野陽生・井村修・藤村晴俊・高田紗英子・柴田早紀・岩田優子・中野恵里・結城奈穂・松村剛・齋藤利雄・日本小児神経学会	2010年12月	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」(筋ジス研究神野班)平成22年度班会議抄録集, 118	

26	指導教員	井村 修	副指導教員	佐々木 淳		
	氏名	松浦 由加子	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	立位姿勢保持における意図の効果	井村修・松浦由加子・ 藤野陽生	2010年12月10日	日本リハビリテーション心理学第36回大会 論文集 9.	

27	指導教員	井村 修	副指導教員	佐々木 淳		
	氏名	結城 奈穂	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	抄録集	筋ジストロフィーという病を伝えることー患者体験から	井村 修・藤村晴俊・ 岩田優子・高田紗英子・ 柴田早紀・中野恵里・ 藤野陽生・結城奈穂・ 山入端津由・上田幸彦・ 平山篤史・石川清司・ 諏訪園秀吾・眞喜屋美祐	2010年11月	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班)」平成22年度班会議(研究成果報告会)プログラム	
	抄録集	筋ジストロフィー患者の家族に対する臨床心理学的アプローチ(多施設共同研究)	井村 修・藤村晴俊・ 柴田早紀・中野恵里・ 高田紗英子・岩田優子・ 藤野陽生・結城奈穂・ 松村 剛・齊藤利雄	2010年11月	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班)」平成22年度班会議(研究成果報告会)プログラム	
	抄録集	筋ジストロフィー児への病気の説明に関する調査——医師を対象として——	井村 修・藤村晴俊・ 藤野陽生・高田紗英子・ 柴田早紀・岩田優子・ 中野恵里・結城奈穂・ 松村 剛・齊藤利雄・ 日本小児神経学会	2010年11月	厚生労働省精神・神経疾患研究開発費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班)」平成22年度班会議(研究成果報告会)プログラム	

28	指導教員	宮田 敬一	副指導教員			
	氏名	谷口 由利子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	ひきこもり状態にある大学生数の推定	井出草平・水田一郎・ 谷口由利子	2011年3月(予定)	CANPUS HEALTH (印刷中)	○

29	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	井村 修		
	氏名	中島 園美	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	「赤ちゃんを亡くした母親との面接-悲哀の心理過程-」	中島園美	2010年12月1日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要 第16号 26-34	
	事例論文	「留熱と頭痛、背部痛が持続し線維筋痛症が疑われた1例」	中島宏和・中島園美・ 中島重徳	2011年2月1日	日本心療内科学会誌 15.5-10.	○
	翻訳	『ブリーフセラピーの技法を越えてー情動と治療関係を活用する解決志向アプローチ』 第6章 ワンウェイミラーの背後にいるチームとコンサルテーションのための休憩 Eve Lipchik ( 2002 ) : BEYOND TECHNIQUE In Solution-Focused Therapy, The Guilford Press.	イブ・リップチック著 宮田敬一・窪田文子・河野梨香監訳 第6章 翻訳担当 中島園美	2010年8月1日	金剛出版	
	年報 (書評論文)	「小児喘息の情動制御と母子相互作用との関連に関する研究の概観と展望-母親機能の活性化による情動制御介入を目指して-」	中島園美	2011年3月1日	大阪大学教育学年報 第16号 大阪大学大学院人間科学研究科 教育学系	
	学会発表 (国内)	「重症アトピー性皮膚炎患者に対する教育入院プログラムーチームとしての取り組みー」	左近美佳・島津史恵・ 福島宣久・片岡葉子・ 田中謙好・永瀬昌子・ 中島園美	2010年	日本医療薬学会年会講演要旨集 297	
	学会発表 (国内)	「喘息患者の身体に関するTSTによる自由記述ー心理社会的要因との関連ー」	中島園美	2010年9月1日	日本カウンセリング学会第43回大会要旨集	



30	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	井村 修・佐々木 淳		
	氏名	大脇 真奈	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	耳鳴を強く訴える男性との動作面接課程	大脇真奈	2010年12月28日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要	
	学会発表(国内)	耳鳴患者における注意・対人スタイルの特性	大脇真奈 渡邊啓介 澁谷ゆき 加藤有加 牧野多恵子 高橋真理子	2010年11月11日	Audiology Japan Vol. 53, No. 5, 339-340	
	学会発表(国内)	耳鳴の重症度分類と治療	高橋真理子 荒木幸絵 蒲谷嘉代子 松田太志 関谷芳正 牧野多恵子 大脇真奈 渡邊啓介 加藤有加 村上信五	2010年11月11日	Audiology Japan Vol. 53, No. 5, 321-322	
	学会発表(国内)	耳鳴の重症度分類に見られる耳鳴患者の人格傾向について—MMPIプロフィールの比較を通して—	加藤有加 関谷芳正 本田麻 大脇真奈 渡邊啓介 松田太志 高橋真理子 牧野多恵子 村上信五	2010年11月11日	Audiology Japan Vol. 53, No. 5, 335-336	
	研究会発表	臨床心理士による耳鳴患者に対する心理面接	大脇真奈	2010年4月3日	桜山耳鼻咽喉科難治疾患懇話会	
	研究会発表	耳鳴患者における注意・対人スタイルの特性	大脇真奈 渡邊啓介 澁谷ゆき 加藤有加 牧野多恵子 高橋真理子	2010年7月3日	日本聴覚医学会 第10回耳鳴りと難聴の研究会	
	研究会発表	耳鳴の重症度分類と治療	高橋真理子 荒木幸絵 蒲谷嘉代子 松田太志 関谷芳正 牧野多恵子 大脇真奈 渡邊啓介 加藤有加 村上信五	2010年7月3日	日本聴覚医学会 第10回耳鳴りと難聴の研究会	
	研究会発表	治療成績の差に見られる耳鳴患者の人格傾向について—MMPIプロフィールの比較を通して—	加藤有加 関谷芳正 本田麻 大脇真奈 渡邊啓介 松田太志 高橋真理子 牧野多恵子 村上信五	2010年7月3日	日本聴覚医学会 第10回耳鳴りと難聴の研究会	
	研究会発表	糖尿病患者さんの“気持ち”を支えるためのコツ	大脇真奈	2010年10月23日	第28回糖尿病薬物療法研究会	

<その他:雑誌>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2011.1	大脇真奈	薬剤師から臨床心理士に 心の専門家として患者をサポート	Pharma Scope Vol.10, 17

<その他:学会>

年月	学会	役割
2010.4~	日本臨床動作学会	広報委員会 委員

<その他:研修会>

年月	研修会名	役割	主催	場所
2010.4~2011.2	臨床動作法 継続研修会	講師補助	関西臨床動作学研究会	京都アスニー(京都市)・晴嵐会館(大津市)
2010.4~2011.2	臨床動作法 通年研修会	講師補助	ふおりせ心理ストレス相談室	京都アスニー(京都市)・晴嵐会館(大津市)
2010.9.19~20	第20回日本臨床動作学会主催研修会	講師補助	日本臨床動作学会	跡見女子学園大学(東京都)
2010.10~	薬剤師のための臨床心理研究会	講師	ハーブ調剤薬局	ハーブ調剤薬局(名古屋)
2010.12.12~13	第7回臨床動作法 関西WS 2010 at 京都	講師補助	関西臨床動作学研究会	平安会館(京都市)
2011.3.13(予定)	トラウマ回復支援の臨床動作法	講師補助	関西臨床動作学研究会	山科アスニー(京都市)
2011.3.20(予定)	生涯教育研修会	講師	愛知県薬剤師会	東建ホール(名古屋)

31	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	佐々木 淳		
	氏名	安達 友紀	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文(国内)	催眠による認知的評価と痛みの変化に関する研究	安達友紀, 宮田敬一, 中江文, 柴田政	2011年4月(予定)	催眠学研究, 53(1・2) (印刷中)	○
	事例論文	「思い切れない」男性会社員との面接過程	安達友紀	2010年12月28日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要16号	
	会報誌	催眠技法研修会初級実証研究コースに参加して	安達友紀	2010年8月31日	日本催眠医学心理学会ニュースレターNo.57	
	学会発表(国外)	Effects of cognitive appraisals on pain in a hypnotic experiment situation	Tomonori Adachi, Keiichi Miyata, Aya Nakae, Masahiko Shibata	2010年6月3日	World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies 2010	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.5	安達 友紀	WCBCT2004記念若手研究奨励基金	日本認知療法学会

32	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	井村 修		
	氏名	足立 匡基	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文(国内)	高齢者の立位バランスと心理的適応の関係性-臨床動作法の観点から-	足立匡基	2011年3月未定	老年社会科学 33巻 ページ未定	○
	紀要論文	対人恐怖症状のある男性との臨床動作法を用いた面接過程	足立匡基	2010年12月28日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要 16号 98-105	○
	年報(学術論文)	大阪大学公開講座 2010年度動作法キャンプの評価と今後の課題	足立匡基	2011年3月未定	大阪大学教育学年報 16号 ページ未定	○

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.3	足立匡基	大阪大学人間科学研究科賞	大阪大学

33	指導教員	宮田 敬一	副指導教員			
	氏名	酒見 惇子	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書(研究所)	膵臓がん患者とその家族への心理的支援に関する研究	伊藤壽記・塩崎麻里子・佐藤貴之・酒見惇子・青江智子	2011年2月1日	厚生科学研究費補助金(がん臨床研究事業)分担研究報告書	

34	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	佐々木 淳		
	氏名	竹田 剛	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	摂食障害をもつクライアントの自己に関する質的研究～自己概念と自尊感情の関係性に着目して～	竹田 剛	2010年10月2日	第14回日本摂食障害学会学術集会	
	学会発表(国内)	過去20年間の海外における状態自尊感情研究の展望(1)-研究動向の概括的検討-	竹田剛・川本静香・渡邊卓也・サトウタツヤ	2010年10月10日	日本パーソナリティ心理学会第19回大会	
	学会発表(国内)	過去20年間の海外における状態自尊感情研究の展望(2)-対応分析を用いた詳細検討-	竹田剛・川本静香・渡邊卓也・サトウタツヤ	2010年10月10日	日本パーソナリティ心理学会第19回大会	
	学会発表(国内)	過去20年間の海外における状態自尊感情研究の展望(3)-キーコンセプトに基づいた分類操作-	竹田剛・川本静香・渡邊卓也・サトウタツヤ	2010年10月10日	日本パーソナリティ心理学会第19回大会	

35	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	藤岡 惇子		
	氏名	繁昌 芳恵	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書(児童相談所)	第2章 グループの運営と進行 第4節 処遇効果評価	葛原昌司・繁昌芳恵・増井愛子	2010年3月31日	大阪府すこやか家族再生応援事業 性的門対行動のある子どもへの援助(在宅児童)平成20年～21年度研究報告書	

36	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	井村 修		
	氏名	榊原 久直	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	インクルーシブな社会をめざす実践における葛藤の積極的な意味:自閉症児のストレス表出に対する他者の反応をめぐる考察	劉小賀・榊原久直・中村美智子・江角彩・高橋真琴・盛敏・清水信子・津田英二	2011年3月(予定)	神戸大学大学院人間発達環境学研究科紀要第4巻2号(印刷中)	○

37	指導教員	佐々木 淳	副指導教員			
	氏名	岡田 紫甫	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	小児がん患者の造血幹細胞移植ドナーとなった同胞のコーピングに関する研究	岡田紫甫・太田秀明・楠木重範・吉津紀久子・佐々木淳・平井啓	2010年9月24日	日本サイコオンコロジー学会	○
	学会発表(国内)	造血幹細胞移植ドナーとなった同胞の意思決定と心理的適応に関する研究	岡田紫甫・太田秀明・楠木重範・吉津紀久子・井上雅美・吉田沙蘭・尾形明子・盛武浩・平井啓	2010年12月18日	日本小児がん学会	○

38	指導教員	佐々木 淳	副指導教員			
	氏名	和田 奈緒子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	乳がん患者への問題解決療法についてのプログラムの評価、及び自身の変化についての評価に関する研究	和田奈緒子、伊藤直、塩崎麻里子、吉崎亜里香、佐々木淳、本岡寛子、平井啓、明智龍男	2010年9月	第10回日本認知療法学会, 151	
	学会発表 (国内)	問題解決療法を基盤とした復職支援プログラム作成の試み	本岡寛子、平井啓、吉崎亜里香、伊藤直、和田奈緒子、森岡久直、猪澤歩、福井直之	2010年9月	第10回日本認知療法学会, 124	
	学会発表 (国内)	がん患者の心配による支障度評価尺度の開発	伊藤直・平井啓・塩崎麻里子・本岡寛子・吉崎亜里香・和田奈緒子	2010年12月	日本行動療法学会第36回大会	
	学会発表 (国外)	A preliminary study on group problem-solving therapy for Japanese cancer patients in palliative care setting.	Naoko Wada, Naoko Kanai, Naoshi Ito, Mariko Shiozaki, Arika Yoshizaki Jun Sasaki, Hiroko Motooka, Kei Hirai	2010年6月	6th World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies	

39	指導教員	佐々木 淳	副指導教員			
	氏名	川口 ことみ	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	自己呈示欲求が対人ストレスコーピングに与える影響: 方略選択の認知を媒介する3つのモデルの比較	川口ことみ・佐々木淳	2010年9月	日本心理学会第74回大会(大阪大学)発表論文集	

40	指導教員	佐々木 淳	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	福永 泰士	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	精神状態に対する否定的イメージが精神的健康に与える影響: 「自分はずつ病なのではないか」と感じる体験をもとに	福永泰士・佐々木淳	2010年9月	日本心理学会第74回大会(大阪大学)発表論文集 p.329	

41	指導教員	中村 高康	副指導教員	近藤 博之		
	氏名	小西 尚之	研究分野名	教育社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (学術論文)	「グラスルーツ・リサーチ」による学校研究の可能性: ローゼンバウムの方法論を参考に	小西 尚之	2011年3月(予定)	大阪大学教育学年報 第16号(印刷中)	

42	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	加賀田 哲也	研究分野名	生涯教育論	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	大中小連携・英語教育の推進に向けたテキストマイニングによる分析から	加賀田哲也、前田和彦、津村修志、他	2010年9月1日	『大阪商業大学論集』、158号	
	事例論文 (国内)	小中連携を視野に入れた中学入門期シラバス	加賀田哲也	2010年11月1日	『英語教育』第59巻9号、28-30	
	著書 (分担執筆)	諸外国の小学校における外国語教育	樋口忠彦、加賀田哲也他	2010年6月1日	樋口忠彦編の『小学校英語活動の展開—よりより英語活動への提言』、研究社出版、256-265	
	学会発表 (国内)	小中連携の取り組みとその成果	加賀田哲也、吹原顕子	2010年6月19日	日本児童英語教育学会第31回全国大会	
	学会発表 (国内)	小中連携英語教育の試み: 学校や自治体の取組の成果と課題	加賀田哲也、泉恵美子、田島直子	2010年7月30日	英語授業研究学会第22回全国大会	
	学会発表 (国内)	これからのグローバル教育の在り方	加賀田哲也、浅川和也、Craig Smith	2010年9月8日	大学英語教育学会第49回全国大会	

43	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	陳 思聡 (Sicong CHEN)	研究分野名	生涯教育学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国外)	Developing Global Citizenship: The effect of studying abroad	Sicong CHEN	AUTUMN 2010	LONDON DIGEST, Issue 7, p.9	○
	学会発表 (国外)	Developing Global Citizenship: The effect of studying abroad	Sicong CHEN	2010年11月20日	International Conference on Education and Citizenship in a Globalising World, convened jointly by the Institute of Education (IOE), London and Beijing Normal University (BNU)	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.11	陳 思聡	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科

44	指導教員	平沢 安政	副指導教員			
	氏名	長谷川 美穂	研究分野名	生涯教育学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	著書 (分担執筆)	第2章 6「パートナーとの家事分担を見る化」 第2章 11「YESかNOか、あなたはどっち？人権のクロスロード」	長谷川 美穂	2010年3月31日	大人の学び研究会(編著)、『おしゃべりの道具箱』、解放出版社、pp.34-37, pp.54-59	
	会報誌	「女」のつく漢字が気になる！？	長谷川 美穂	2011年2月10日	(社)部落解放・人権研究所 『ヒューマンライツ No.275』、pp.5-13	

45	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	宮本 美能	研究分野名	生涯教育学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国外)	"Examination of Democratic Education in the UK" How can the democratic educational principles apply to education in Japan?	宮本美能	2010年5月1日	第5回曾議手冊暨論文集(第5回東アジア国際会議で英語による論文発表 & 研究論文集掲載: 於 台湾), 146-152.	
	事例論文	「小学校外国語活動のカリキュラム案と実践」	宮本美能	2010年3月31日	大阪大学留学生センター『多文化社会と留学生交流』第14号, 71-80.	
	学会発表 (国内)	「超短期スプリング・インテンシブ (ナノテクノロジーと日本語プログラム)」	宮本美能	2010年3月30日	留学生教育学会(第3回短期留学プログラム分科会)	
	学会発表 (国内)	「大学現場に多文化共生を構築する—留学生と日本人学生の混合クラスの中で」	宮本美能	2010年11月7日	日本学習社会学会	
	学会発表 (国内)	「大学教育現場に多文化共生を構築する—留学生と日本人学生の混合クラスの中で」	宮本美能	2011年 1月22日	異文化間教育学会若手研究交流会<論文掲載候補発表>	
	学会発表 (国外)	「大学教育現場における民主的な教育の実践」	宮本美能	2011年 1月9日	7th International Conference Multiculturalism and Social Justice, Democracy and Globalization	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2011.1	日本ユニセフ協会	ユニセフ大阪通信に、宮本美能が担当する大学での英語による「人権教育」の授業について掲載	日本ユニセフ協会、大阪支部ニュースレター

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2011.2	宮本美能	教育企画推進室教育系企画への助成	大阪大学人間科学研究科

46	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	山根 絵美	研究分野名	生涯教育学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	ドイツにおけるイスラーム宗教教育—ムスリムの子どもをめぐって—	山根 絵美	2010年9月18日	日本教育社会学会第62回大会 発表要旨録集 28-29	
	学会発表 (国内)	日独比較からみた教育政策の特質—PISAショック後の学力向上と平等性の行方—	石原陽子、中山あおい、山根絵美、森田英嗣	2010年9月18日	日本教育社会学会第62回大会 発表要旨録集 176-179	

47	指導教員	平沢 安政	副指導教員			
	氏名	津村 樹理	研究分野名	生涯教育学	学年	MC 1 年次

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2003.9	津村樹理	「シンガポールでの日本人幼児教育について」	『月刊キリスト教保育 9月号』
2006.10	津村樹理	平成17年度パキスタンにおけるODA 全体・個別視察報告	『外務省 平成17年度 ODA民間モニター 第I期 パキスタン・イスラム共和国』
2009.10	津村樹理	「私の出逢った風景から」	『関西学院宗教センター チャペル週報 秋季宗教運動特集号』

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.12	代表 矢本貴美、石川朝子、大栗真佐美、末岡加奈子、津村樹理	「GLOCOLの副プログラムから共生社会に向けた提言」優秀賞	大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL) 大学院生 プレゼンコンテスト

48	指導教員	木村 涼子	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	寺町 晋哉	研究分野名	生涯教育学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表(国内)	学校教育におけるジェンダーの再生産を変革するための教師教育—協働によるジェンダーの視点—	寺町 晋哉	2010年9月25日	日本教師教育学会	
	学会発表(国内)	課題研究Ⅳ 教師教育におけるジェンダー視点の必要性 1. 国立大学法人教員養成大学におけるジェンダーに関する指導内容の実態	寺町 晋哉	2010年9月26日	日本教師教育学会	
	学会発表(国外)	The Teacher Training Course and Gender Perspective in Japan : through the Questionnaire Survey of the Student	Sinva TERAMACHI, Kazue MOCHIDUKI, Sachiko ASAI	2010年12月16日	The 2nd East Asian International Conference on Teacher Education Research	

49	指導教員	木村 涼子	副指導教員			
	氏名	河上 婦志子	研究分野名	生涯教育学	研究生	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	図書紹介	女性校長のキャリア形成	河上 婦志子	2010年3月1日	教育学研究/日本教育学会	

50	指導教員	志水 宏吉	副指導教員			
	氏名	榎井 縁	研究分野名	教育文化学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文(国内)	「たかとり」から多文化な子どもたちと発信する	榎井 縁	2010年4月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(4)(通号509号)、明治図書出版、pp. 106-117	
	学術論文(国内)	春柳「わたしには伝えたいことがある」前編	榎井 縁	2010年5月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(5)(通号510号)、明治図書出版、pp. 70-77	
	学術論文(国内)	春柳「わたしには伝えたいことがある」後編	榎井 縁	2010年6月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(6)(通号511号)、明治図書出版、pp. 106-117	
	学術論文(国内)	大阪朝鮮高級学校—何がとり上げられるのか	榎井 縁	2010年7月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(7)(通号512号)、明治図書出版、pp. 68-75	
	学術論文(国内)	大阪朝鮮高級学校—何をみつめなくてはならないのか	榎井 縁	2010年8月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(8)(通号513号)、明治図書出版、pp. 66-73	
	学術論文(国内)	「乗り越える力」を信じて	榎井 縁	2010年9月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(9)(通号514号)、明治図書出版、pp. 108-117	
	学術論文(国内)	もちあげるより、おろしたほうがいい	榎井 縁	2010年10月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(10)(通号515号)、明治図書出版、pp. 82-88	
	学術論文(国内)	増える在日ネパール人(1)	榎井 縁	2010年11月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(11)(通号516号)、明治図書出版、pp. 79-84	
	学術論文(国内)	増える在日ネパール人(2)	榎井 縁	2010年12月1日	解放教育研究所編 『解放教育』40(12)(通号517号)、明治図書出版、pp. 88-97	
	学術論文(国内)	なにわのアメジアンを生きる	榎井 縁	2011年1月1日	解放教育研究所編 『解放教育』41(1)(通号518号)、明治図書出版、pp. 47-53	
	学術論文(国内)	差別の連鎖を断ち切るためにぼくのできることを考える	榎井 縁	2011年2月1日	解放教育研究所編 『解放教育』41(2)(通号519号)、明治図書出版、pp. 67-74	
	学術論文(国内)	日本語に躓く状態に置かれた子どもたち(前編)	榎井 縁	2011年3月1日	解放教育研究所編 『解放教育』41(3)(通号520号)、明治図書出版、pp. 95-103	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.5.20	榎井縁	小学校外国語活動	茨城新聞、上毛新聞、熊本日日新聞、沖縄タイムズ、山形新聞、京都新聞
2010.12.15	榎井縁	先生はご近所の外国人	朝日新聞

51	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	新谷 龍太郎	研究分野名	教育文化学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (研究所)	第5章 働きがいと学校の特徴	新谷龍太郎	2009年10月1日	教職員の働きがいに関する総合意識調査 2009 81-90	
	報告書 (大学)	第Ⅱ部3章 継続して効果のある学校の特徴	新谷龍太郎	2009年11月1日	平成21年尼崎市立小・中学校学力・生活実態 調査報告 186-195	
	報告書 (大学)	新自由主義的教育改革の進行と課題-米国ノースカロライナ州とF県の比較から	新谷龍太郎	2010年4月1日	学力向上策の比較社会学的研究-平成21年 度都道府県現地調査のまとめ 238-246	
	年報 (学術論文)	公立学校改革を捉える視座-外からの改革と内からの改革	新谷龍太郎	2010年4月1日	教育文化学年報年報 第5号 2009年度 33- 42	
	年報 (学術論文)	総合選抜制度が進学アスピレーションと文化資本の関係に及ぼす影響-ログリニアモデルを用いた二次分析	新谷龍太郎	2011年3月(予定)	大阪大学教育学年報第16号	
	学会発表 (国内)	アメリカにおける政権交代が教育政策に及ぼす影響について	新谷龍太郎	2010年9月19日	日本教育社会学会第62回大会	
	研究会発表	学校組織文化の形成プロセス	新谷龍太郎	2009年8月3日	学校社会学研究会第27回大会	

52	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	棚田 洋平	研究分野名	教育文化学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書	「2006年度・大阪府内識字学級活動状況調査」報告書	岩槻知也・熊谷愛・新矢麻紀子・菅原智恵美・棚田洋平・壺井宏・古川正志・森実	2010年5月1日	(社)部落解放・人権研究所 識字部会	
	報告書	「2010年度 全国識字学級実態調査 報告書(仮)」	森実・棚田洋平	2011年3月(予定)	(社)部落解放・人権研究所 識字部会	
	学会発表 (国内)	教育戦略にみる「在日」アイデンティティ-民族学校の保護者インタビューより-	棚田洋平	2010年6月13日	第31回異文化間教育学会	
	学会発表 (国内)	エスニック・スクールにおける保護者の教育戦略-アジア系3校を事例として	榎井縁・鍛冶致・中島智子・芝野淳一・館奈保子・棚田洋平・比嘉康則	2010年9月19日	第62回日本教育社会学会	

53	指導教員	志水 宏吉	副指導教員			
	氏名	比嘉 康則	研究分野名	教育文化学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (学術論文)	「境界線に向き合う力」としての「教養」	比嘉 康則	2011年3月31日	大阪大学教育学年報, 16, 115-132	
	年報 (学術論文)	特区制度は公教育の何を変えなかったのか	比嘉 康則	2011年3月(予定)	教育文化学年報, 6	
	学会発表	エスニック・スクールの保護者の教育戦略	比嘉康則・榎井縁・鍛冶致・中島智子・芝野淳一・館奈保子・棚田洋平	2010年9月19日	日本教育社会学会第62回大会	
	研究会発表	制度化するオルタナティブスクール	比嘉 康則	2010年4月10日	コンフリクトの人文国際研究教育拠点 大学院生調査研究助成第2・第3次成果報告会	

< 研究助成 >

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.11	比嘉 康則	グローバルCOEプログラム 大学院生調査研究助成費	大阪大学人間科学研究科

54	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	前馬 優策	研究分野名	教育文化学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (大学)	学力観の変化に「B問題」が与えたインパクト	前馬優策	2010年4月	『平成21年度科研費報告書 学力向上策の比較社会学的研究 公正と卓越性の確保の視点から』、pp.193-202	
	報告書 (大学)	スコットランド	ハヤシザキカズヒコ・前馬優策	2010年4月	『平成21年度科研費報告書 学力向上策の比較社会学的研究 公正と卓越性の確保の視点から 平成21年度 各国現地調査のまとめ』pp.33-59	
	報告書 (大学)	平成22年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告	前馬優策、盛満弥生、芝野淳一、古田美貴、館奈保子、岡邑衛、藪田直子、桐山努、是澤健治、森井崇、柳井和久	2010年12月	平成22年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告	
	学会発表 (国内)	スコットランドにおける学力向上策—卓越性と公正性の視点から	ハヤシザキカズヒコ・前馬優策	2010年5月20日	日本教育経営学会第50会記念大会発表論文集 72-75	
	学会発表 (国内)	個性尊重時代の自己肯定感と学力	前馬優策	2010年8月13日	日本教育学会第69回大会発表要旨収録 384-385	
	学会発表 (国内)	子どもの階層的背景と統制様式についての一考察	前馬優策	2010年9月13日	日本教育社会学会第62回大会発表要旨集録 308-309	
	学会発表 (国内)	学力政策の比較社会学(その2)—全国学力テストは都道府県に何をもたらしたか	志水宏吉・芝山明義・葛上秀文・若槻健・盛満弥生・前馬優策・新谷龍太郎・末岡加奈子	2010年9月13日	日本教育社会学会第62回大会発表要旨集録 274-279	

< 研究助成 >

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4~	前馬優策	特別研究員奨励費	日本科学技術振興会

55	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	館 奈保子	研究分野名	教育文化学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	エスニック・スクールにおける保護者の教育戦略	鍛冶致、榎井縁、中島智子、芝野淳一、館奈保子、棚田洋平、比嘉康則	2010年9月19日	第62回日本教育社会学会大会	

< 研究助成 >

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.12	館奈保子	大学院生調査研究助成	大阪大学グローバルCOE

56	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	芝野 淳一	研究分野名	教育文化学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (大学)	平成21年度尼崎市小・中学校 学力・生活実態調査 第3章	芝野 淳一	2009年12月(昨年度記入漏れ)	平成21年度尼崎市小・中学校 学力・生活実態調査報告書 大阪大学教育文化学研究室	
	報告書 (大学)	平成22年度尼崎市小・中学校 学力・生活実態調査 第1章、第2章、第4章	芝野 淳一	2010年12月1日	平成22年度尼崎市小・中学校 学力・生活実態調査報告書 大阪大学教育文化学研究室	
	年報	ニューカマー教育研究における「文化」概念について	芝野 淳一	2010年3月30日	大阪大学教育文化学年報 第5号	
	年報	ネオリベラリズムと多文化主義の「結び付き」とその「維持」に関する試論	芝野 淳一	2011年3月(予定)	大阪大学教育文化学年報 第6号	
	学会発表 (国内)	エスニック・スクールにおける保護者の教育戦略	芝野 淳一	2010年9月19日	第62回日本教育社会学会大会	

57	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	知念 涉	研究分野名	教育文化学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書(大学・研究所等)	地域の社会関係と学力	知念涉・中村瑛仁	2011年4月	平成22年度 科研費報告書 学力向上策の比較社会学的研究	
	年報 (学術論文)	生徒文化という視点とその有効性—「リアルで等身大の教育像」に迫るために—	知念涉	2011年4月	2010年度 教育文化学年報	
	学会発表 (国内)	進路多様校生のその後—高校入学時から卒業2年の継続的研究—	西田垂希子・片山悠樹・中村高康・岩田考・知念涉・藤原翔	2010年9月18日	日本教育社会学会第62回大会	
	学会発表 (国内)	社会関係資本と学力—「つながり格差」仮説の再検討—	高田一宏・鈴木勇・知念涉・中村瑛仁・志水宏吉・古田美貴・岡邑衛・藪田直子	2010年9月19日	日本教育社会学会第62回大会	

58	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	中村 瑛仁	研究分野名	教育文化学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (大学)	「地域の社会関係と学力」	知念渉・中村瑛仁	2011年4月(印刷中)	『平成21年度 科研費報告書 学力向上策の比較社会学—公正と卓越性の確保の視点から—』、大阪大学人間科学研究科教育文化学研究室	
	報告書 (大学)	「学校—家庭・地域の紐帯とは」	中村瑛仁	2010年4月1日	『平成21年度 科研費報告書 学力向上策の比較社会学—公正と卓越性の確保の視点から—』、大阪大学人間科学研究科教育文化学研究室、257-266	
	年報	「教員文化と教職アイデンティティ」	中村瑛仁	2011年4月(印刷中)	『教育文化学年報』第6号	
	学会発表 (国内)	「社会関係資本と学力」、『日本教育社会学会第62回大会』	志水宏吉、○高田一宏、○鈴木勇、○知念渉、○中村瑛仁、古田美貴、岡邑衛、藪田直子、	2010年9月19日	日本教育社会学会第62回発表要旨収録 368-373(於 関西大学)	
	研究会発表 (国内)	「『つながり格差』について」	○志水宏吉、○知念渉、○中村瑛仁	2011年2月1日	社会的排除指標研究会(於 大阪人権センター)	

59	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	山本 房代	研究分野名	教育文化学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (大学)	フィンランド調査報告	堀家由紀代・増田育子・山本房代	2010年4月	「学力向上策の比較社会学的研究—公正と卓越性の確保の視点から— 平成21年度各国現地調査のまとめ」、平成21年度 日本学術振興科学研究費補助金(基礎研究A,課題番号20243037), pp104-131	
	報告書 (大学)	フィンランド調査報告	堀家由紀代・増田育子・山本房代	2011年3月(予定)	「学力向上策の比較社会学的研究—公正と卓越性の確保の視点から— 平成22年度各国現地調査のまとめ」、平成21年度 日本学術振興科学研究費補助金(基礎研究A,課題番号20243037)	
	報告書 (大学)	フィンランドの「学力」を支える特別支援教育	山本房代	2012年3月(予定)	「学力向上策の比較社会学的研究—公正と卓越性の確保の視点から— 平成22年度各国現地調査のまとめ」、平成21年度 日本学術振興科学研究費補助金(基礎研究A,課題番号20243037)	
	紀要(大学)	フィンランドの特別支援教育	山本房代	2011年3月(予定)	淑徳大学紀要	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.9-2011.8	山本房代	平和中島財団日本人留学生奨学生	平和中島財団

60	指導教員	志水 宏吉	副指導教員			
	氏名	岡邑 衛	研究分野名	教育文化学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	社会関係資本と学力—「つながり格差」仮説の再検討—	高田一宏、志水宏吉、鈴木勇、古田美貴、知念渉、岡邑衛、中村瑛仁、藪田直子	2010年9月13日	日本教育社会学会第62回発表要旨集録 p368-373	

61	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	近藤 博之		
	氏名	鍛冶 直紀	研究分野名	教育文化学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報	「旅人たちのポリフォニー」	鍛冶直紀	2011年3月(予定)	教育文化学年報第6号	
	研究会発表	38年間の教員生活から見た大阪府の教育	鍛冶直紀	2010年5月9日	中学校づくり研究会	

62	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	末岡 加奈子	研究分野名	教育文化学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	年報 (学術論文)	オランダにおける「自由」と「多様性」に富んだ教育—競争を生まない学校教育—	末岡加奈子	2011年4月1日(予定)	『教育文化学年報』第6号 (印刷中)	
	学会発表 (国内)	『学力政策の比較社会学(その2)—全国学力テストは都道府県に何をもたらしたか』	志水宏吉・芝山明義・葛上秀文・若槻健・盛満弥生・前馬優策・新谷龍太郎・末岡加奈子	2010/9/18~19日	日本教育社会学会第62回大会発表	



63	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	中村 舞	研究分野名	教育文化学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書	イングランド調査	志水宏吉・高田一宏・北山夕華・前馬優策・中村舞	2011年4月 (予定)	学力向上政策の比較社会学的研究－公正と卓越性の確保の視点から－	
	年報 (学術論文)	「日本人幼児と外国にルーツをもつ幼児の関わり合いについての一考察」	中村 舞	2011年4月 (予定)	教育文化学年報第6号	

64	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	高田 一宏		
	氏名	藪田 直子	研究分野名	教育文化学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	報告書 (大学)	尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告	前馬優策・盛満弥生・芝野淳一・古田美貴・館奈保子・藪田直子・岡邑衛・桐山勉・是澤健治・森井崇・柳井和久	2010年12月	大阪大学大学院人間科学研究科 教育文化学研究室	
	年報 (学術論文)	在日コリアンの「名前」をめぐる歴史と現代的課題	藪田直子	2011年4月(予定)	大阪大学 教育文化学年報 第6号	
	学会発表 (国内)	社会関係資本と学力－「つながり格差」仮説の再検討－	高田一宏・鈴木勇・知念渉・中村瑛仁・志水宏吉・古田美貴・岡邑衛・藪田直子	2010年9月9日	日本教育社会学会第62回大会	

グローバル 在籍者 77名 回答者 49名 研究成果 有 27名 成果有の人数(%) 55%  
 人間学系 回答者率 64% 無 22名

1	指導教員	中村 安秀	副指導教員			
	氏名	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	研究分野名	国際協力論	学年	DC 3 年
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	論文	Local government participation in financial management of public elementary schools: A case study of Japan and Guatemala	Francisco Oswaldo Alfaro Perez Seiji Utsumi and Yasuhide Nakamura	2010年6月発行	人間環境学研究会 第8巻1号 Pp.7-14.	○
	論文	Interview Survey on Latin-American Students in Japanese Junior High School	Francisco Oswaldo Alfaro Perez	2011年3月 (予定)	Asian Educational Monographs. Graduate School of Education. Kyoto University. (印刷中)	○
	学会発表 (国内)	Integration of Latin American Students into the Local Educational System in Aichi	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	2010年6月12-13日	31st Annual Meeting of Intercultural Education Society of Japan in Nara.	
	学会発表 (国内)	Integration of Latin American Students into the Japanese Junior High School: Japanese Teachers' Perspectives.	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	2010年6月26-27日	46th Annual Meeting of Japan Comparative Education Society in Kobe.	

2	指導教員	中村 安秀	副指導教員	津田 守		
	氏名	竹迫 和美	研究分野名	国際協力論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文	Findings from Translating Preprocess of Multilingual Medical Questionnaires(MMQ)-Mid Term Report of the Telemedicine Interpretation Project	Kazumi Takesako, Kiyomi Takizawa, Tetsuo Sakamaki	2010年4月	日本遠隔医療学会雑誌 第6巻第1号	○
	著書 (分担執筆)	第8章 多言語共生社会に向けて (竹迫和美は「コラム」を担当しますが、現在ゲラ版の最終チェック中です)	中村安秀・河森正人 編	2011年3月末日(印刷中)	『グローバル人間学への誘い』大阪大学出版 会	
	会報誌	アメリカ合衆国の医療通訳の現状	中村安秀、竹迫和美	2010年5月1日	自治体国際化フォーラム No. 247,16-18	
	学会発表 (国内)	Multilingual Medical Questionnaires(MMQ) System	Kazumi Takesako, Kiyomi Takizawa	2010年10月21日	8th Asia-Pacific Travel Health Conference,FC1-6.88 (奈良)	○
	学会発表 (国内)	米国の医療通訳者に対するインタビュー調査	竹迫和美、中村安秀	2011年3月5日(予定)	第29回日本国際保健医療学会西日本地方会 (印刷中)	○
	学会発表 (国外)	Japan's First Multidisciplinary Association of Medical Interpreters: Current Activities and Challenges	Kazumi Takesako	2010年7月28日	Critical Link 6(Aston University, UK)	○
	学会発表 (国外)	34 Language Multilingual Questionnaire:An Efficient and inexpensive Communicaiton Tool Developed in Japan	Kazumi Takesako, Kiyomi Takizawa	2010年9月4日	IMIA 2010 Conference(Boston, USA)	○
	※研究関連 分野の通訳 活動	メディカルツーリズムと医療通訳を 考えるみんなのシンポジウム	竹迫和美(基調講演 者の逐次通訳者とし て参加)	2010年10月24日	主催:医療通訳研究会(MEDINT) 共催:大阪大学グローバルCOEプログラム「 在日外国人を取り巻くコンフリクトを緩和する システム構築」班(研究代表:中村安秀) 会場:西宮市大学交流センター大会議室	
	※研究関連 分野の通訳 活動	14th International Congress of Immunology	竹迫和美(リスクマ ネジメント委員会の 応急手当室で医療通 訳者として活動)	2010年8月22日~27日	主催:日本免疫学会・国際免疫学会連合 会場:神戸ポートピアホテル・神戸国際展示 場	
	※研究関連 分野の講演 活動	医療通訳に求められるもの-米国の 手話通訳者の場合-	竹迫和美	2010年9月25日	大阪府枚方市手話通訳協会研修会 会場:ラフォーレ枚方、大研修室	
	※研究関連 分野の通訳 活動	国際ボランティア学会第12回大会 共通論題の外国人パネリストの通 訳、および、一般公開のミリアム・ ウェレ博士講演会通訳	竹迫和美	2011年2月19日~20日	主催:国際ボランティア学会 会場:文教大学国際学部、茅ヶ崎 学会本部事務局:大阪大学大学院人間科学 研究科人間開発学講座	
(注記)上記※の4活動は、通訳活動の中でも、特に博士研究のテーマである医療通訳に関連するもの、および、指導員である中村安秀教授の 指示でした通訳活動だけを、大学院学生として実施したものとみなし列記しました。						

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.3.5	竹迫和美	優秀演題賞	日本国際保健医療学会

3	指導教員	中村 安秀	副指導教員			
	氏名	山中 早苗	研究分野名	国際協力学	学年	DC 1年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	海外大学での修士号取得	Master in Assessment and Evaluation を取得	山中 早苗	取得年月日:2010年12月21日	メルボルン大学教育学部 (Melbourne Graduate School of Education, University of Melbourne)	

4	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	日下部 尚徳	研究分野名	国際協力学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国外)	The Expansion Factor and Reduction Factor of Cyclonic Damage in Bangladesh: A Case Study of the Cyclone Sidr in 2007	Naonori Kusakabe	2010年7月1日	A Journal of Indigenous Knowledge and Development, Vol. VII, Issue 1, 62-76.	○
	報告書 (研究所)	外務省「国際情勢講演会:南アジア情勢と日本外交」開催報告	日下部 尚徳	2010年6月1日	South Asian Affairs, No.6, 38-45.	
	学会発表 (国内)	Bangladeshにおけるテロリズムとクーデター—国境警備隊(BDR)による国軍兵士虐殺事件を事例に—	日下部 尚徳	2010年6月20日	日本平和学会2010年度春季研究大会 報告論文集	○
	学会発表 (国内)	避難行動からみる Bangladeshにおけるサイクロン被害拡大要因に関する研究—サイクロン「シドル」被災地における半構造的インタビュー調査をもとにした分析—	日下部 尚徳	2010年9月17日	第29回日本自然災害学会学術講演会 講演概要集	○
	学会発表 (国内)	開発コンサルタントからソーシャルビジネスへ—「NGO」大国 Bangladeshの今—	日下部 尚徳	2010年11月7日	地域研究コンソーシアム次世代地域研究ワークショップ「NGOの時代は終わったのか:成熟するアジアの市民社会と日本のNGOの」	○
	学会発表 (国内)	Bangladeshにおけるサイクロン被害と対策に関する研究—南部沿岸地域におけるサイクロン被害軽減にむけた一考察—	日下部 尚徳	2010年12月5日	第21回国際開発学会全国大会 報告論文集	○
	学会発表 (国内)	サイクロン被災時における避難意思阻害要因に関する質的・量的研究	日下部 尚徳	2011年2月19日	国際ボランティア学会第12回大会 報告論文集	○
	学会発表 (国内)	NGO・社会的企業と地域研究—社会連携にむけた一考察—	日下部 尚徳	2011年2月20日	地域研究コンソーシアム主催ワークショップ「キャリア・パスとしての社会貢献?—若手地域研究者の現状と社会連携の可能性」	
	学会発表 (国外)	Potential Role of Community Radio for the Development and Disaster Management	Naonori Kusakabe, Anna Tamaki	2011年2月5日	National Seminar on Applied Anthropology "Indigenous knowledge and Development", Institute of Applied Anthropology	○
	学会発表 (国外)	Terrorism and the Coup d'état in Bangladesh: The Case Study Approach of The Bangladesh Rifles Revolt in 2009	Naonori Kusakabe	2011年3月(予定)	A special joint AAS-ICAS conference in celebration of "70 Years of Asian Studies"	○
	研究会発表	Bangladeshとビルマにおけるサイクロン被害拡大要因に関する比較研究	日下部 尚徳	2010年6月27日	「ベンガル湾縁辺における自然災害との共生を目指した在地のネットワーク型国際共同研究」研究会	
	研究会発表	Potential Role of Community Based Radio Station for the Disaster Preparedness	Naonori Kusakabe	2010年8月5日	Seminar on Community Based Disaster Preparedness: Promotion of Education for Sustainable Development	○

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.9	日下部 尚徳	補助金カットで窮地に立つスウェーデンのNGO	国際協力NGOセンター(JANIC), 『シナジー』, 147号, 24-25.

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2011.2	日下部 尚徳	隅谷三喜男賞(研究奨励賞)	国際ボランティア学会

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	日下部 尚徳	平成22年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

5	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	Narila Mutia Nasir	研究分野名	国際協力学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	The Relationship between Pregnant women's knowledge about health care and the social determinant of health in Indonesia	Narila Mutia Nasir	2011年2月28日	The Bulletin of Global Human Studies Vol.3, 2010, page 67-77	○
	著書 (分担執筆)	Current Trends in MCH Handbook: Lesson Learned, Partnerships, and Evidence-based Approach	Baequni, <u>Narila Mutia Nasir</u> , Calvin S. de los Reyes	Now Printing	MCH Handbook World Report Vol. 1, 2010	
	著書 (編著)	MCH Handbook World Report	Baequni, <u>Narila Mutia Nasir</u>	Now Printing	MCH Handbook World Report Vol. 1, 2010	
	学会発表 (国内)	Mother's Knowledge on Newborn Care in Indonesia: A Case Study in Banten Province	<u>Narila Mutia Nasir</u> , Yasuhide Nakamura	2010年9月12日	Program & Abstract, The 25th Annual Meeting of the Japan Association for International Health, page 103	○
	学会発表 (国内)	The Effect of Mother Class Implementation on Health Knowledge of Pregnant Women in Banten, Indonesia	Narila Mutia Nasir	2011年3月12日	Conference Abstract, Asia Association for Global Studies (AAGS) 2011 Conference in Japan, page 8	○
	学会発表 (国外)	The Role of Mother Class on Antenatal care in Banten Indonesia	Narila Mutia Nasir	2010年12月5日	Conference Program, The 7th International Conference on Maternal and Child Health (MCH) Handbook, held in Dhaka, Bangladesh	

6	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	NGUYEN THI PHUONG LAN	研究分野名	国際協力学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	Exploring the Current State of the Research Funding System for Universities in Japan through a Case Study of a National University Corporation/Global Human Studies Vol.3 2010	<u>Nguyen Thi Phuong Lan</u> , Yasuhide Nakamura	2011/2/28	The Bulletin of Global Human Studies, Vol.3 2010 pp 5-15 published by Research Center for Global Human Studies, Graduate School of Human Studies, Osaka University	
	学会発表 (国外)	Research Funding System for Universities in Japan: A Case Study of National University Corporation	<u>Nguyen Thi Phuong Lan</u> , Yasuhide Nakamura	2010/5/24-28	Canada International Conference on Education (CICE-2010), Toronto, Canada	

7	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	Baequni	研究分野名	国際協力学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	著書 (分担執筆)	Current Trends in MCH Handbook: Lesson Learned, Partnerships, and Evidence-based Approach	<u>Baequni</u> , Narila Mutia Nasir, Calvin S. de los Reyes	Now Printing	MCH Handbook World Report Vol. 1, 2010	
	著書 (編著)	MCH Handbook World Report	<u>Baequni</u> , <u>Narila Mutia Nasir</u>	Now Printing	MCH Handbook World Report Vol. 1, 2010	
	学会発表 (国内)	Mother's Knowledge on Newborn Care in Indonesia: A Case Study in Banten Province	<u>Baequni</u> , Yasuhide Nakamura	2011年3月5日	West Regional Meeting of Japan Society for the 29th International Health Program, page 21, Saga Medical School-Japan	○
	学会発表 (国外)	A Evidence-Based Practice of MCH Handbook for Maternal and Child Health Service: A Meta Analysis from MCH Handbook Studies	<u>Baequni</u> , Yasuhide Nakamura	2010年12月5日	Conference Program, The 7th International Conference on Maternal and Child Health (MCH) Handbook, held in Dhaka, Bangladesh	

8	指導教員	中村 安秀	副指導教員	宮原 暁		
	氏名	矢元 貴美	研究分野名	国際協力学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	大阪YMCA学院日本語学科ニューカマー児童生徒支援事業に関する一考察——教科学習支援に焦点を当てて	矢元貴美	2010年7月7日	YMCA総合研究所研究紀要、2010年度第5巻、23-44.	
	研究会発表	子ども向けフィリピン語教材の開発と評価—教材評価を中心に	矢元貴美	2011年3月31日(予定)	フィリピン研究会全国フォーラム抄録集 第15巻(第15回フィリピン研究会全国フォーラム抄録集)(印刷中)	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.12	矢元貴美	大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)プレゼンコンテスト「GLOCOLの高度副プログラムから共生社会に向けた提言」優秀賞	大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.7	矢元貴美(企画責任者)	地域研究コンソーシアム次世代ワークショップ	地域研究コンソーシアム

9	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	深尾 幸市	研究分野名	国際協力論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	キンシャサにおけるストリートチルドレンの現状と課題	深尾幸市・Kalubi BUKASA	2009年5月23-24日	日本アフリカ学会 ポスター発表	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.10.	深尾幸市	キンシャサのストリートチルドレンに関して	TV MBS ちちんぷいぷい インタビュー 出演
2010.10.	深尾幸市	コンゴ情勢に関する現状	NGO SESCO アフリカンセミナー

10	指導教員	中村 安秀	副指導教員			
	氏名	Belarga, Oliver	研究分野名	国際協力学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国外)	A Study on Families with Disabilities in Manila, Philippines	Belarga, Oliver and Nakamura, Yasuhide	2010年7月1日	International Journal of Learning, Vol. 17, Issue 1, pages 293-298	
	学会発表 (国外)	Street Education in Cavite, Philippines	Belarga, Oliver	2010年9月15日	Asia-Pacific Conference on Child Evangelism Fellowship 2010, Phnom Penh, Cambodia	
	学会発表 (国外)	Challenges of Foreign Families with Disabilities in Manila, Philippines	Belarga, Oliver and Nakamura, Yasuhide	2011年1月17日	8th Asia-Pacific Conference in Speech, Language and Hearing 2011, New Zealand	
	その他	Contributor / Staff		2010年12月9日	International Conference in Maternal and Child Health Handbook 2010, Dhaka Bangladesh	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
Sep-10	Oliver Belarga	UN Millenium Development Goals Photo Competition Winner, Amateur Photographer Category	United Nations, New York Headquarters

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
Jan-11	Oliver Belarga	Funding for Attending Conference	Global COE Conference Grant (Osaka University)
Feb-Mar 2011	Oliver Belarga	Grant for Winter Research Workshop	University of Vienna, Austrian Office of Research and Exchange

11	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	下村 真貴子	研究分野名	国際協力学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	JICA本邦研修の成果に関する検証	下村 真貴子	2010年12月4日~5日	第21回国際開発学会	
	学会発表 (国内)	国際協力としての研修事業の成果に関する考察	下村 真貴子	2011年3月5日	第29回日本国際保健医療学会西日本地方会	

12	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	工位 夏子	研究分野名	国際協力論講座	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	The Role of Private Companies in the Development and Popularization of Long Lasting Insecticidal Nets	Natsuko Takui Yasuhide Nakamura	2010年10月22日	8th Asia-Pacific Travel Health Conference	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.8.29	工位 夏子	途上国の実態伝える アゲンスト・マラリア基金コーディネーター	朝日新聞

13	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	藤丸 健太郎	研究分野名	国際協力学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	スポーツ活動を通じたアフリカの青少年の成長	藤丸健太郎	2011年2月19日	国際ボランティア学会第12回大会報告論文集 41-44	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2011.3	藤丸健太郎	人間科学研究科賞	大阪大学人間科学研究科

14	指導教員	澤村 信英	副指導教員	中村 安秀		
	氏名	稲垣 陽平	研究分野名	国際協力学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	ケニアの初等教育分野における「マルチ・フィールドワーク」の試み—複眼的な子ども研究をめざして—	澤村信英、伊藤瑞規、倍賞佑里、吉田孝之、稲垣陽平	2010年12月1日	アフリカ教育研究 第1号	
	研究会発表	ケニアの小学校におけるコミュニケーション言語—多民族国家に生きる生徒の言語観を中心に—	稲垣陽平	2010年10月23日	アフリカ教育研究フォーラム	
	研究会発表	「ケニアの初等教育分野における「マルチ・フィールドワーク」の試み—学校文化をめぐる—」	稲垣陽平	2010年11月27日	第三世界の教育研究会	

15	指導教員	津田 守	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	山本 一晴	研究分野名	多文化共生社会論	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (海外)	Recent Developments and Perspectives on Translation Studies in Thai Context	Kazuharu Yamamoto	2011年4月発行予定(印刷中)	2010 ICLC proceedings	○
	報告書	全学共通科目におけるTAの新たな試み—「教育者になるためのトレーニング機会の提供」という観点から—	山本一晴	2011年1月	サイバーメディアフォーラム No.11	
	学会発表 (国内)	効果的なe-Learning授業のためのティーチング・アシスタントの役割とその効果	竹蓋順子, 山本一晴	2010/8/3-5 (8/3)	外国語教育メディア学会50周年記念全国研究大会(横浜市立サイエンスフロンティア高等学校)	○
	学会発表 (海外)	The Recent Development and Perspectives on Translation Studies in the Thai Context: Based on a Survey for the Period between 1982 and 2009	Kazuharu Yamamoto	August 5th - August 6th (August 6th) 2010.	The 2ed International Conference on Language and Communication "Dynamism of Language and Communication in Society" 2010 (Bangkok, Thailand)	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.5	山本 一晴	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科
2011.1	山本 一晴	論文等の外国語校正支援	大阪大学大学院人間科学研究科

16	指導教員	津田 守	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	原 めぐみ	研究分野名	多文化共生社会論	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	トランスナショナルな死のかたち—日本における外国人移住者の遺体移送をめぐる—	宮原暁、木村、尾上、大栗、下川床、厩、横林、矢野、中谷、小野	2011年3月1日	グローバル人間学紀要、第3号、81-101	○
	学会発表 (国内)	日系二世の国籍取得における動機と移住—フィリピンで育った新日系フィリピン人の事例から—	原めぐみ	2010年6月27日	日本移民学会第20回年次大会	○
	学会発表 (国内)	Transnational Japanese-Filipino Children and Youth: Migration Trend and Language Acquisition	Megumi Hara, Michiyo Yoneno, Raissa Ocaya	2011年3月5日、6日	donotlivewithanyoftheirparentsTransnational "Nikkei" and Their Education, Language and Culture: Learning from the Past for a Better Future	○
	学会発表 (国外)	Overcoming Semilingualism, Family, Nationality, Migration and Language Acquisition of Japanese Filipino Children	Michiyo Yoneno, Megumi Hara, Raissa Ocaya	2010年11月7日	International Society of Family Law, Legional Conference	
	学会発表 (国外)	Longing for Two Homelands—Case Study of Japanese-Filipino Youth in the Philippines—	Megumi Hara	2011年3月20日	The 1st Vulnerable Filipino Migrants International Conference	○
	研究会発表	ディアスポラ研究という視点から見る新日系フィリピン人の経験	原めぐみ	2010年5月14日	第7回フィリピン社会研究会	
	研究会発表	なぜ日本国籍にこだわるのか—新日系フィリピン人のライフストーリーからの考察—	原めぐみ	2010年6月25日	第1回グローバル人間学研究会	
	研究会発表	「帰国」する新日系フィリピン人—日本での生活と戸惑い—	原めぐみ	2010年7月17日	第15回フィリピン研究会全国フォーラム	
	その他抄録集	「帰国」する新日系フィリピン人—日本での生活と戸惑い—	原めぐみ	2010年3月1日	フィリピン研究会全国フォーラム抄録集、第15巻、9-12	

17	指導教員	津田 守	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	チョロコヴァ ソルニツァ	研究分野名	多文化共生社会論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	発表 (大学)	Tendencies in Translation of Japanese Literature in Bulgaria	チョロコヴァ ソルニツァ・大阪大学	2010年07月26日	大阪大学多文化共生社会論特定研究I	
	発表 (大学)	Overview of Translation Practices from Japanese Language in Bulgaria	チョロコヴァ ソルニツァ・大阪大学	2010年10月	大阪大学多文化共生社会論特定研究II	
	発表 (大学)	Through Language and Culture - Legal Translation between Bulgarian - English - Japanese	チョロコヴァ ソルニツァ・大阪大学	2011年2月8日	大阪大学多文化共生社会論特定研究II	

18	指導教員	津田 守	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	中谷 桂子	研究分野名	多文化共生社会論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	トランスナショナルな死のかたち—日本における外国人居住者の遺体移送をめぐって—	宮原暁/木村自/大栗真佐美/尾上智子/横林泰宏/小野絢子/矢野由佳/原めぐみ/岡本明日翔/中谷桂子/下川床和真	2011年2月28日	グローバル人間学紀要 vol. 3	

19	指導教員	小林 清治	副指導教員	斎藤 弥生、三好 恵真子		
	氏名	野村 恭代	研究分野名	人間環境論	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国外)	「정신장애인사회복귀시설컨플릭트(conflict)에 관한 고찰」	野村 恭代	2010年4月1日	韓国社会福祉学会大会論文集	○
	学術論文 (国外)	「障害者施設建設による社会の不調和と合意」	野村 恭代	2010年10月1日	安居楽業	○
	報告書	「精神障がい者への地域支援—新たな就労支援の形—」	野村 恭代	2010年9月25日	日本精神保健福祉士協会機関紙『精神保健福祉』第41号第3号	
	調査報告	「施設と地域との『共生』への課題—沖縄県精神障害者施設における調査から—」	野村 恭代	2010年11月1日	関西福祉科学大学紀要第14号	○
	学会発表 (国内)	「精神障がい者への地域支援—新たな就労支援の形—」	野村 恭代	2010年6月5日	第46回精神保健福祉士協会全国大会・第9回精神保健福祉学会	
	学会発表 (国内)	「地域支援の新たな形態—一般就労形態を基盤とした就労支援—」	野村 恭代	2010年6月13日	第24回地域福祉学会全国大会	
	学会発表 (国内)	「施設コンフリクトに及ぼす地域要因に関する一考察」	野村 恭代	2010年10月10日	第58回日本社会福祉学会全国大会	
	学会発表 (国外)	「정신장애인사회복귀시설컨플릭트(conflict)에 관한 고찰」	野村 恭代	2010年4月24日	韓国社会福祉学会	○

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.7	野村 恭代	障害者の就労について(上・下)	毎日新聞

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.4	野村 恭代	文科省研究費補助金若手研究(B)	日本学術振興会

20	指導教員	小林 清治	副指導教員	宮原 暁、三好 恵真子		
	氏名	五百木 あゆみ	研究分野名	人間環境論	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	研究会発表	在日ブラジル人の再就労に関する一考察	五百木 あゆみ	2010年10月1日	グローバル人間学研究会	
	活動報告	ブラジルへ帰国した「デカセギ」労働者のいま	五百木 あゆみ	2010年11月(掲載日)	グローバル人間学ホームページ	

21	指導教員	三好 恵真子	副指導教員			
	氏名	山崎 優子	研究分野名	人間環境論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	ベトナムの子どもの栄養状態と生活習慣	山崎優子	2011年3月(予定)	大阪大学人間科学研究科グローバル人間学紀要	○
	学会発表(国内)	Effects of Nutritional Transition and Life Environment on the obesity of Preschool Aged children in Vietnam	Yuko Yamazaki, Trinh Hong Son, Yoshinori Suminura, and Emako Miyoshi	2010年10月20日～23日	第8回アジア太平洋渡航医学会議(奈良/奈良県新公会堂)	
	学会発表(国外)	A Study on the Association of Lifestyle and Eating habit with Overweight by Pre-school Aged Children in Vietnam	Yuko Yamazaki, Trinh Hong Son, Yoshinori Suminura, and Emako Miyoshi	2010年11月10日～12日	The 5th Asian Congress of Dietetics(タイ、バンコク)	
	研究会発表	ベトナムの子どもの栄養状態と生活環境～都市部の幼稚園の事例	山崎優子	2010年5月28日	関西国際保健勉強会(大阪/大阪市生涯学習センター)	
	研究会発表	ベトナムの子どもの栄養状態と生活環境	山崎優子	2010年6月25日	グローバル人間学研究会・第52回GLOCO Lセミナー(大阪大学)	
	研究会発表	A Study on the Association of Lifestyle and Eating habit with Overweight by Pre-school Aged Children	Yuko Yamazaki	2010年11月20日	English Speaking Club / Department of Health(ベトナム/ロンスエン市、保健局)	

22	指導教員	鈴木 広和	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	八十田 糸音	研究分野名	動態地域論	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文(研究ノート)	2つの文化が交錯する場としてのオスピタル —16世紀メキシコ市を中心に—	八十田 糸音	2011年2月(予定)	グローバル人間学紀要Vol.3	○
	研究会発表(国内)	16世紀のヌエバ・エスパーニャにおける、オスピタルと医療について	八十田 糸音	2010年6月25日	第1回グローバル人間学研究会/第52回GLOCOLセミナー	

23	指導教員	宮原 暁	副指導教員	中村 安秀		
	氏名	尾上 智子	研究分野名	超地域論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文(国内)	フィリピン・カリガ州のゴパス儀礼における「遊び」	尾上 智子	2010年10月25日	アジア太平洋論叢、第19号、71-92	○
	報告書	トランスナショナルな死のかたち—日本における外国人居住者の遺体移送をめぐって—	宮原 暁、木村 自、尾上 智子、他	2011年2月28日	グローバル人間学紀要、3、81-101	
	研究会発表(国内)	村落空間と治療儀礼をつなぐもの—カリガ州バシルの事例から—	尾上 智子	2010年7月17日、18日	第15回フィリピン研究会全国フォーラム	
	研究会発表(国内)	儀礼における「遊び」の意味—フィリピン・カリガ州のゴパス儀礼における老婆たちの「遊び」をめぐって—	尾上 智子	2010年12月17日	第5回グローバル人間学研究会	
	研究会発表(国外)	"Play" on Gopas ritual in Kalinga Province, Philippines	Tomoko Onoe	2011年3月16日	Binalot Talk at the Archaeological Studies Program	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	尾上 智子	大阪大学学生海外短期研究留学助成	大阪大学

24	指導教員	宮原 暁	副指導教員	河森 正人		
	氏名	横林 泰宏	研究分野名	超地域論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	ゼミ報告	トランスナショナルな死のかたち—日本における外国人居住者の遺体移送をめぐって—	宮原暁・木村自・大栗真佐美・尾上智子・横林泰宏・小野絢子・矢野由佳・原めぐみ・岡本明日翔・中谷桂子・下川床和真	2011年2月28日	グローバル人間学紀要 Vol.3, 2010, 81-101	



25	指導教員	福岡 まどか	副指導教員	千葉 泉・小林 清治		
	氏名	岡本 明日翔	研究分野名	地域知識論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	インドネシアの大衆音楽ダンドゥットの誕生と社会的影響に関する考察—ムラユ音楽とロック・ミュージックに影響を受けたロマ・イラマー	岡本 明日翔	2011年2月28日	グローバル人間学紀要Vol.3	○
	紀要論文	トランスナショナルな死のかたち—日本における外国人居住者の遺体移送をめぐる—	宮原 暁・木村 自・大栗 真佐美・尾上 智子・横林 泰宏・小野 絢子・矢野 由佳・原 めぐみ・岡本 明日翔・中谷 桂子・下川床 和真	2011年2月28日	グローバル人間学紀要Vol.3	○

26	指導教員	福岡 まどか	副指導教員	宮原 暁		
	氏名	矢野 由佳	研究分野名	地域知識論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	紀要論文	トランスナショナルな死のかたち—日本における外国人居住者の遺体移送をめぐる—	宮原暁/木村自/大栗真佐美/尾上智子/横林泰宏/小野絢子/矢野由佳/原めぐみ/岡本明日翔/中谷桂子/下川床和真	2011年2月28日	グローバル人間学紀要vol.3	

2010年度 PDの研究活動記録

1	受入研究者	中山 康雄				
	氏名	佐金 武	研究分野名	哲学(時間論、意識の哲学)	PD	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学会発表 (国内)	意識の共時的統一と分離脳	太田紘史、佐金武	2010年4月24日	日本応用哲学会第二回年次研究大会	○
	学会発表 (国内)	時間と意識	太田紘史、佐金武	2010年6月13日	科学基礎論学会 2010年度「総会と講演会」	○
	学会発表 (国外)	Why Are There No Time- Travellers?: From a Presentist Point of View	Takeshi Sakon	2010年8月5日	Metaphysics of Science Conference	○
	研究会発表	現象的意識とその統一:表象主義 からのアプローチ	太田紘史、佐金武	2010年7月6日	認知脳システム学 GCOE第15回創成塾	
	研究会発表	意識の(共時的)統一と分離脳の事例	太田紘史、佐金武	2010年9月28日	認知脳システム学 GCOE第19回創成塾	

2	受入研究者	栗本 英世				
	氏名	佐川 徹	研究分野名	文化人類学	PD	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名/学会名	審査有無
	学術論文 (国内)	Automatic rifles and social order amongst the Daasanach of conflict-ridden East Africa	Toru Sagawa	2010年	Nomadic Peoples 14 (1): 87-109	○
	学術論文 (国内)	War experiences and self- determination of the Daasanach in the conflict-ridden area of northeastern Africa	Toru Sagawa	印刷中(2010年予定)	Nilo-Ethiopian Studies 14.	○
	報告書 (大学・研究 所等)	大規模開発プロジェクトと周縁社会 —エチオピア西南部のダム/農場 建設と地域住民の初期対応	佐川徹	2010年7月1日	(Kyoto Working Papers on Area Studies No. 101)』、京都大学東南アジア研究所、34p	
	著書 (単著)	暴力と虐待の民族誌—東アフリカ 牧畜社会の戦争と平和	佐川徹	印刷中(2011年3月予定)	昭和堂	
	著書 (分担執筆)	Local potential for peace: Trans- ethnic cross-cutting ties among the Daasanach and their neighbors.	Toru Sagawa	印刷中	Christina Echi-Gabbert and Sophia Thubauville (eds.) To Live with Others: Essays on Cultural Neighborhood in Southern Ethiopia. Köln, Köppe (German).	
	著書 (分担執筆)	Local order and human security after the proliferation of automatic rifles in East Africa.	Toru Sagawa	2010年	Malcolm McIntosh and Alan Hunter (eds.) New Perspectives on Human Security. pp. 250-258. Sheffield, Greenleaf (UK).	
	著書 (分担執筆)	東アフリカ牧畜社会の小型武器と 武装解除	佐川徹	2010年6月30日	川端正久・武内進一・落合雄彦(編)『紛争解 決—アフリカの経験と展望』、ミネルヴァ書 房、pp. 221-251	
	学会発表 (国内)	大規模商業農場の建設が地域社 会に与える影響—エチオピア西南 部ダサネッチの初期対応	佐川徹	2010年5月29-30日	日本アフリカ学会第47回学術大会、奈良	
	学会発表 (国内)	『無知なるわれわれ』へのいらだち —商業農場建設とダサネッチの自 己認識	佐川徹	2010年4月17-18日	日本ナイル・エチオピア学会第19回学術大 会、東京	
	研究会発表	敵性の構築と溶解—東アフリカ牧 畜社会の低強度紛争の事例から	佐川徹	2010年4月23日	第47回大阪大学「コンフリクトの人文学セミ ナー」、大阪	
	研究会発表	平和、開発、アサイラム空間: 東ア フリカ牧畜社会における再国土化 をめぐる	佐川徹	2010年7月24日	国立民族学博物館共同研究「<アサイラム> の人類学」、大阪	
	研究会発表	Excessive violence and social order in the Kenya-Sudan-Ethiopia Borderland	Toru Sagawa	31. Jul. 2010.	International Research Forum of African Studies, Kyoto University. Role of African Area Studies for “African Crisis”: Emerging Approaches to Understanding Violence and Social Transformation in East Africa. Kyoto University, Kyoto	
	研究会発表	東アフリカ牧畜民の暴力と和解に 臨む態度と姿勢	佐川徹	2010年12月12日	国立民族学博物館共同研究「交錯する態度 への民族誌的接近—連辞符人類学の再考、 そしてその先へ」、大阪	